

2020（令和2）年度事業報告書

—2020年4月1日～2021年3月31日—



学校法人 聖隷学園

目次

1	法人の概要	…	1 頁
	(1) 基本情報	…	1 頁
	(2) 建学の精神	…	1 頁
	(3) 学校法人の沿革	…	2 頁
	(4) 設置する学校・学部・学科等	…	3 頁
	(5) 学校・学部・学科等の学生・生徒・児童・園児数の状況	…	4 頁
	(6) 収容定員充足率	…	5 頁
	(7) 役員の概要	…	6 頁
	(8) 評議員の概要	…	8 頁
	(9) 教職員の概要	…	9 頁
2	事業の概要	…	10 頁
	(1) 主な教育・研究の概要	…	11 頁
	(2) 中期的な計画（教学・人事・施設・財務等） 及び事業計画の進捗・達成状況	…	30 頁
	(3) 施設等の状況	…	55 頁
3	財務の概要	…	56 頁
	(1) 決算の概要	…	56 頁
	(2) その他	…	62 頁
	(3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、 今後の方針・対応方策	…	66 頁

1 法人の概要

(1) 基本情報

学校法人 聖隷学園
静岡県浜松市北区三方原町3453
電話(代表) 053-436-5311
FAX 053-436-5355
H P <https://www.seirei.ac.jp/gakuen>

(2) 建学の精神

◆ 基本理念 「生命の尊厳を守り、自分のように隣人を愛する」

聖隷学園は「生命の尊厳を守り、自分のように隣人を愛する」というイエス・キリストの愛を基本理念としています。

イエス・キリストが自ら弟子の足を洗い手本を示されたように、行って同じようにすること、人と共にあり、共に生きることを人生の目的と喜びとすること、病人や障害を持つ人、お年寄りの不安や苦痛、悲しみを理解し、クリストファーが危険をおかし、命がけでイエス・キリストを背負ってライン河を渡ったように、これらの人々を大事にケアする人材が本学園から育つことを願っています。聖隷学園が教育環境の充実を図っていく中で願うことは、聖隷学園が地域の人々にとって役に立つ学園であってほしいということです。地域社会における医療・保健・福祉の質の向上に貢献する人材、さらには、アメリカ・ヨーロッパや開発途上国で国際的に活躍する人材が巣立っていくことを期待しています。

◆ 聖隷とは

新約聖書のヨハネによる福音書第13章に、最後の晩餐のとき、キリストは「食事の席から立ち上がって上着を脱ぎ、手ぬぐいをとって腰にまどわれた。それから、たらいに水をくんで弟子たちの足を洗い、腰にまとった手ぬぐいでふき始められた。」とあります。当時、人の足を洗うことは奴隷の仕事でしたが、キリストは弟子たちに行動を以って最後の教を示しました。「聖隷」の名はこの箇所由来しています。1926年(大正15年)4月、長谷川保らクリスチャンの若者たちは、奴隷の形をとって弟子たちの足を洗われるキリストの姿をクリスチャンの理想の生き方と考え、自分たちもキリストに倣い、「聖なる神の奴隷」となって世の人々に仕える生き方をしようと社会福祉事業を目的として聖隷社を創立。ここから「聖隷」の歴史が始まりました。

◆ クリストファーとは

「クリストファーChristopher」は、「キリストを運ぶもの・担うもの」という意味で、3世紀半ば頃の半伝説的殉教者の名前です。クリストファー伝説は、6世紀以後主にライン川流域に広がり、今なお欧州各地において多くの関心と尊敬を集め語り継がれています。伝説によれば、川の渡し守が、嵐の夜、小さい男の子が向こう岸に渡りたいというので、肩車をして渡すと川中で次第に重くなり、やっとの思いで向こう岸に着いたということです。岸に着いてみると、それはキリストであったといわれます。「重くなった」ということに2つの意味があるといわれています。一つは、この世の人々の苦しみ、悲しさの総量を表します。二つには、夜の早瀬や深みを渡るとき、自分より重いものを荷わなければ、自分自身も流れにのみこまれてしまう、ということです。以後キリスト教の精神を担うことの高貴さを表す名称となり、ヨーロッパ諸国に広まりました。

聖隷の創立者・長谷川保は、病人や障害者、お年寄りの不安や苦痛、悲しみを理解し、クリストファーがキリストを背負ったように、これらの人々を大事にケアする人が育ってほしいとの願いから「聖隷クリストファー」と命名しました。

◆ シンボルマークの由来



聖隷のシンボルマークは故アルバート・アットウェル（アメリカ人、1978～1981年聖隷学園に奉職）により1980年に考案されました。外側の二重円は、最後の晩餐で主イエス・キリストが弟子たちの足を洗った「たらい」を表現。内側の3つの円は、聖隷グループが使命とする医療（赤）、福祉（緑）、教育（青）を象徴しています。中央の十字架はキリスト教を示し、聖隷のすべての事業がキリスト教会の中から始まったことを示しています。

(3) 学校法人の沿革

1930年	ベテルホームに結核患者収容開始
1936年	浜松市三方原町の県有地7ヘクタール（21,000坪）払下げになる
1939年	迫害が激しくおこり経営困難極まる 12月天皇陛下より特別御下賜金を受ける
1949年	各種学校遠州キリスト学園開設
1952年	聖隷准看護婦養成所開設
1966年	学校法人聖隷学園設立 聖隷学園高等学校設置
1969年	聖隷学園浜松衛生短期大学設置
1980年	聖隷学園浜松衛生短期大学専攻科助産学特別専攻開設
1988年	聖隷介護福祉専門学校設置
1992年	聖隷クリストファー看護大学看護学部設置
1998年	聖隷クリストファー看護大学大学院看護学研究科（修士課程）設置
2001年	聖隷学園高等学校を「聖隷クリストファー高等学校」に名称変更
2002年	大学に社会福祉学部を増設し、「聖隷クリストファー大学」に名称変更 短期大学を「聖隷クリストファー大学看護短期大学部」とする
2003年	聖隷クリストファー高等学校移転改築
2004年	大学にリハビリテーション学部、大学院に社会福祉学研究科（修士課程）を設置 看護短期大学部看護学科を募集停止し、看護学部を定員増
2006年	大学院にリハビリテーション科学研究科（修士課程）を設置 高等学校に英数科を設置
2007年	聖隷クリストファー大学看護短期大学部専攻科助産学特別専攻を廃止し、 大学に助産学専攻科を設置
2008年	大学院に保健科学研究科（博士後期課程）を設置 大学社会福祉学部にごども教育福祉学科を設置
2009年	聖隷クリストファー中学校設置

2010 年	大学看護学部に養護教諭課程開設
2011 年	聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園開設 大学社会福祉学部を社会福祉学科、臨床介護福祉学科及びこども教育福祉学科に改編 大学リハビリテーション学部を理学療法学科、作業療法学科及び言語聴覚学科に改編 大学院を看護学研究科、社会福祉学研究科、リハビリテーション科学研究科の 各博士前期課程・博士後期課程に改編
2013 年	大学社会福祉学部臨床介護福祉学科を、「介護福祉学科」に名称変更 大学院保健科学研究科廃止
2016 年	聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校開設
2019 年	大学社会福祉学部こども教育福祉学科に小学校教諭課程開設
2020 年	聖隷クリストファー小学校開設

(4) 設置する学校・学部・学科等（2020年5月1日現在）

設置する学校	開設年	学部等	学科・専攻等	摘 要
聖隷クリストファー大学	1992 年	看護学部	看護学科	
	2007 年	助産学専攻科		
	2002 年	社会福祉学部	社会福祉学科	2011 年度より 3 学科に改編 2013 年度「臨床介護福祉学科」を「介護福祉学科」に名称変更
	2008 年		こども教育福祉学科	
	2011 年		介護福祉学科	
	2004 年	リハビリテーション学部	理学療法学科	2011 年度より 3 学科に改編
			作業療法学科	
			言語聴覚学科	
	1998 年	大学院看護学研究科 博士前期課程（修士課程）		
	2011 年	大学院看護学研究科 博士後期課程		
	2004 年	大学院社会福祉学研究科 博士前期課程（修士課程）		
	2011 年	大学院社会福祉学研究科 博士後期課程		
2006 年	大学院リハビリテーション科学研究科 博士前期課程（修士課程）			
2011 年	大学院リハビリテーション科学研究科 博士後期課程			
聖隷クリストファー大学 介護福祉専門学校	2016 年	介護福祉学科		
聖隷クリストファー 高等学校	1966 年	普通科		1974 年衛生看護科から移行
	2006 年	英数科		

設置する学校	開設年	学部等	学科・専攻等	摘要
聖隷クリスファー 中学校	2009年			
聖隷クリスファー 小学校	2020年			
聖隷クリスファー大学 附属 クリスファーこども園	2011年			

(5) 学校・学部・学科等の学生・生徒・児童・園児数の状況 (2020年5月1日現在)

◆聖隷クリスファー大学・大学院

(単位:人)

	入学 定員	入学 者数	収容 定員	在 籍 者 数					
				1年	2年	3年	4年	合計	
大 学 院	看護学研究科	15	10	35	10	14	19	-	43
	博士前期課程	10	5	20	5	11	-	-	16
	博士後期課程	5	5	15	5	3	19	-	27
	社会福祉学研究科	13	5	29	5	7	8	-	20
	博士前期課程	10	2	20	2	5	-	-	7
	博士後期課程	3	3	9	3	2	8	-	13
	リハビリテーション科学研究科	20	15	40	15	18	4	-	37
	博士前期課程	15	10	25	10	16	-	-	26
	博士後期課程	5	5	15	5	2	4	-	11
	大学院合計	48	30	104	30	39	31	-	100
大 学	看護学部	150	158	600	158	158	170	154	640
	看護学科	150	158	600	158	158	170	154	640
	助産学専攻科	15	17	15	17	-	-	-	17
	社会福祉学部	120	96	450	96	90	65	84	335
	社会福祉学科 (※1)	65+15	52	205	52	44	40	32	168
	介護福祉学科 (※2)	-	-	85	-	16	5	14	35
	こども教育福祉学科	40	44	160	44	30	20	38	132
	リハビリテーション学部	95	108	380	108	124	109	104	445
	理学療法学科	40	46	160	46	56	46	44	192
	作業療法学科	30	34	120	34	37	34	34	139
	言語聴覚学科	25	28	100	28	31	29	26	114
	大学合計	380	379	1,445	379	372	344	342	1,437
	総 合 計	428	409	1,549	409	411	375	342	1,537

※1…+15は編入学生 ※2…介護福祉学科は社会福祉学科に統合

◆聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

(単位：人)

	入学 定員	入学 者数	収容 定員	在籍者数		
				1年	2年	合計
介護福祉学科	40	19	80	19	24	43
総合計	40	19	80	19	24	43

◆聖隷クリストファー高等学校

(単位：人)

	入学 定員	入学 者数	総定員	在籍者数			
				1年	2年	3年	合計
英数科	94	49	282	49	49	48	146
普通科	200	268	600	268	229	210	707
総合計	294	317	882	317	278	258	853

◆聖隷クリストファー中学校

(単位：人)

	入学 定員	入学 者数	総定員	在籍者数			
				1年	2年	3年	合計
総合計	70	22	210	22	52	47	121

◆聖隷クリストファー小学校

(単位：人)

	入学 定員*	入学 者数	総定員	在籍者数						
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
総合計	120	92	120	55	-	21	-	16	-	92

2020年度生入学募集は1・3・5年生を募集

◆聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

(単位：人)

	総定員	在籍者数						
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	225	15	15	15	60	60	60	225
1号認定	135				49	44	45	138
2.3号認定	90	7	15	17	16	15	15	85
総合計		7	15	17	65	59	60	223

(6) 収容定員充足率（毎年度5月1日現在）

学校名	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
聖隷クリストファー大学	96.4%	97.7%	97.2%	97.9%	99.2%
聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校	55.0%	58.8%	56.3%	58.8%	53.8%
聖隷クリストファー高等学校	102.6%	94.3%	93.0%	89.1%	96.7%
聖隷クリストファー中学校	73.8%	66.2%	68.1%	69.0%	57.6%
聖隷クリストファー小学校 ※2020年度開校	-	-	-	-	76.7%
聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園	95.6%	96.0%	97.8%	99.1%	99.1%

(7) 役員の概要

2021年3月31日現在
定員数 理事13名、監事2名

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事長	長谷川 了	常 勤	1980年3月29日理事就任 1980年4月専務理事就任 1989年4月理事長就任
専務理事	小柳 守弘	常 勤	2006年5月25日理事就任 2006年11月法人事務局長就任 2012年11月専務理事就任（法人事務局長兼任）
理 事	大城 昌平	常 勤	2017年4月聖隷クリスティア-大学学長就任 2013年5月23日理事就任
理 事	上村 敏正	常 勤	2020年4月聖隷クリスティア-中・高等学校校長就任 2020年4月1日理事就任
理 事	永井 英司	常 勤	2013年4月聖隷学園宗教主任就任 2016年11月24日理事就任
理 事	藤本 栄子	常 勤	2016年4月聖隷クリスティア-大学看護学部長就任 2016年5月26日理事就任
理 事	横尾 恵美子	常 勤	2012年4月聖隷クリスティア-大学社会福祉学部長就任 2016年4月聖隷クリスティア-大学介護福祉専門学校校長就任 2017年5月25日理事就任
理 事	太田 雅子	常 勤	2011年4月 聖隷クリスティア-大学附属クリスティア-こども園総園長就任 2012年5月24日理事就任
理 事	君島 功	非常勤	2018年5月24日理事就任 （東京海上日動火災保険株式会社 浜松支店長）
理 事	山本 敏博	非常勤	2001年4月1日理事就任 （聖隷福祉事業団理事長）
理 事	荻野 和功	非常勤	2003年4月1日理事就任 （聖隷三方原病院院長）
理 事	岡 俊明	非常勤	2018年11月28日理事就任 （聖隷浜松病院院長）
理 事	砂原 和仁	非常勤	2020年5月28日理事就任 （東京海上日動マシナリサービス株式会社企画部担当部長）
監 事	俵山 初雄	非常勤	2009年4月1日監事就任 （しんきん経済研究所 理事長）
監 事	平井 章	非常勤	2011年4月1日監事就任

前会計年度の決算承認に係る理事会開催日後の退任役員

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
	なし		

2020年3月31日以降の異動状況

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
【退任】			
理 事	茨城 久一郎	常 勤	2020年3月理事 退任
理 事	中村 勇	非常勤	2020年3月理事 退任

【就任】			
理事	上村 敏正	常 勤	2020 年 4 月理事 就任
理事	砂原 和仁	非常勤	2020 年 5 月理事 就任

役員賠償責任保険契約の状況(2021 年 3 月 31 日現在)

対象役員	契約内容の概要
理事・監事	契約者(団体)：日本私立大学協会 加入期間：1 年(2020 年 4 月 1 日 午後 4 時～2021 年 4 月 1 日 午後 4 時) 保険期間中総支払限度額：3 億円 免責金額：0 円

責任限定契約の状況(2021 年 3 月 31 日現在)

対象役員	契約内容の概要
君島 功	責任限度額：10 万円 (学校法人聖隷学園寄附行為 第 14 条に基づき定めた額)
山本 敏博	責任限度額：10 万円 (学校法人聖隷学園寄附行為 第 14 条に基づき定めた額)
荻野 和功	責任限度額：24 万円 (私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の規定に基づく最低責任限度額：理事の年間報酬額に 2 を乗じた額)
岡 俊明	責任限度額：24 万円 (私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の規定に基づく最低責任限度額：理事の年間報酬額に 2 を乗じた額)
砂原 和仁	責任限度額：10 万円 (学校法人聖隷学園寄附行為 第 14 条に基づき定めた額)
俵山 初雄	責任限度額：24 万円 (私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の規定に基づく最低責任限度額：理事の年間報酬額に 2 を乗じた額)
平井 章	責任限度額：24 万円 (私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の規定に基づく最低責任限度額：理事の年間報酬額に 2 を乗じた額)

(8) 評議員の概要

2021年3月31日現在
定員数 27名

氏名	就任年月日	主な現職等
長谷川 了	1979年 7月 8日	学校法人聖隷学園 理事長
小柳 守弘	2003年 4月 1日	学校法人聖隷学園 専務理事・法人事務局長
大城 昌平	2013年 4月 1日	聖隷クリストファー大学 学長
上村 敏正	2017年 4月 1日	聖隷クリストファー中・高等学校 校長
藤本 栄子	2016年 5月 26日	聖隷クリストファー大学看護学部 学部長
横尾 恵美子	2012年 5月 24日	聖隷クリストファー大学社会福祉学部 学部長 兼 介護福祉専門学校 校長
太田 雅子	2012年 5月 24日	聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 総園長
君島 功	2018年 5月 24日	東京海上日動火災保険株式会社 浜松支店長
大野 和男	2017年 4月 1日	聖隷クリストファー中・高等学校 宗教部長
中村 純	2020年 5月 28日	聖隷クリストファー小学校 校長
新宮 尚人	2017年 4月 1日	聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部 学部長
市江 和子	2020年 5月 28日	聖隷クリストファー大学大学院社会福祉学研究科長 (大学院三研究科長代表)
敷浪 いづみ	2016年 5月 26日	聖隷クリストファー中・高等学校 教頭
中村 憲司	2010年 5月 27日	聖隷クリストファー大学 総務部長
鈴木 聡	2012年 11月 28日	聖隷クリストファー小学校 総務部長
高木 広幸	2019年 4月 1日	学校法人聖隷学園 法人事務局 財務部長
紅谷 純	2018年 5月 24日	聖隷クリストファー大学 同窓会会長
木村 忠雄	2007年 4月 1日	聖隷クリストファー大学 同窓会副会長
中村 純子	2018年 5月 24日	聖隷クリストファー高等学校 同窓会長
牧野 光子	2020年 5月 28日	聖隷クリストファー大学・介護福祉専門学校 後援会長
名倉 暢里	2020年 5月 28日	聖隷クリストファー中・高等学校 P T A会長
長澤 道子	2003年 4月 1日	(社)牧ノ原やまばと学園 理事長
藤島 一郎	2005年 4月 1日	浜松市リハビリテーション病院 院長
稲松 義人	1997年 4月 1日	(社)小羊学園 理事長
加藤 成久	2015年 4月 1日	(社)神戸聖隷福祉事業団 理事
森本 俊子	2016年 4月 1日	(社)聖隷福祉事業団聖隷浜松病院 総看護部長
堀口 路加	1990年 4月 1日	学校法人堀口学園 理事長、(社)愛の園福祉会 理事長

(9) 教職員の概要 (2020年5月1日現在)

聖隷クリストファー大学・大学院 教員数

(単位：人)

	専任					兼任	合計
	教授	准教授	講師 助教	助手	計		
看護学部	19	9	19	2	49	88	137
社会福祉学部	14	7	4	0	25	44	69
リハビリテーション学部	13	8	7	0	28	47	75
助産学専攻科	1	1	1	0	3	26	29
合計	47	25	31	2	105	205	310
平均年齢	52.1歳						

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 教員数

(単位：人)

	専任	兼任	兼任	合計
介護福祉学科	3	23	3	29
平均年齢	36.3歳			

聖隷クリストファー高等学校 教員数

(単位：人)

	専任	兼任	合計
普通科・英数科	41	38	79
平均年齢	43.2歳		

聖隷クリストファー中学校 教員数

(単位：人)

	専任	兼任	合計
中学校	10	10	20
平均年齢	43.9歳		

聖隷クリストファー小学校 教員数

(単位：人)

	専任	兼任	合計
小学校	13	1	14
平均年齢	44.6歳		

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 教員数 (調理員等含む) (単位：人)

	専任	準職	合計
こども園	15	30	45
平均年齢	37.3歳	47.5歳	

※準職員は7.75hで1名換算

職員数

(単位：人)

	専任	準職	派遣	合計
法人	11	3	5	19
聖隷クリストファー大学 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校	38	7	4	49
聖隷クリストファー中・高等学校	5	5	0	10
聖隷クリストファー小学校	3	0	0	3
クリストファーこども園	5	14	0	19
合計	62	29	9	100
平均年齢	43.0歳	56.7歳	-	47.4歳

2 事業の概要

法人全体

①メディカルスクール（医学系専門職大学院）設置構想

国際基準に合わせた医学教育（2023年以降）の改革に対応するため、メディカルスクール（医学系専門職大学院）設置構想を掲げています。

過去6年制医学部から4年制メディカルスクール（学部卒業）に移行したハーバード大学医学部、デューク大学医学部シンガポール校、オーストラリアディーキン大学・モナッシュ大学、マレーシア、韓国（ソウル近郊）、フィリピンにおける医師養成状況事例を資料にまとめ検討材料の基礎としています。

②グローバルスクール設置構想

小学校から中学、高等学校まで一貫した英語イマージョン・探究型教育を行うグローバルスクール設置構想を掲げています。今後中長期経営計画の目標生徒数、教員数を前提に教員配置、教育課程、校舎の増・新築を具体化しています。一方で既存の中・高等学校とも連携、協力体制を保ちつつ進めています。

③中長期人事政策に向けた取組み

今後将来的に納付金や補助金の増額が見込めない一方、人件費比率は毎年1%近く増加していく見通しがあり、財政的に非常に厳しい状況になっていきます。大学、中高の教員配置計画、教員年齢問題対応を含めた特任教員配置計画ならびに非常勤講師配置計画について、人件費比率を大学では63%、中高では60%、こども園では70%以下を前提とした人事政策を実施しています。そのひとつとして、大学、専門学校、中高等学校、こども園、事務職員について人事評価制度を導入し、客観的説得力のある評価と処遇反映によるやりがいのある制度の構築に向けて、評価基準の整備、処遇反映方法等の調整を行なっています。小学校についても2021年度に制度化します。

④地域における交流と信頼関係づくり

三方原地区における聖隷グループの各施設が共通する課題について話し合い、協調を図っていくことを趣旨として三方原サミットを開催しました。各施設、団体より当年度事業計画のトピックスを報告いただき、互いの事業への理解を深める機会としました。また、災害時対応として、地震災害を想定し三方原サミット災害対策本部、三方原サミット各施設合同でトランシーバーによる情報収集訓練を行いました。今後も定期的に訓練を実施していきます。

聖隷クリストファー大学は、キリスト教精神による生命の尊厳と隣人愛に基づき人格を陶冶すると共に、広い知識と深い専門の学芸を教授・研究し、保健医療福祉分野の看護、リハビリテーション、福祉、教育の専門職業人を育成して、人類の健康と福祉に寄与することを目的としています。

大学の中長期事業計画に沿って 2020 年度は、1) 内部質保証及び教学マネジメントのシステム運用による教育と人材育成の質の向上、2) 時代の要請に適う教育研究の発展に向けた各部門の重点課題の集中的取り組み、3) 全学国際保健医療福祉コース（国際コース）の設計によるグローバル教育の展開、4) 就業規則改定に伴う組織的かつ個々人の働き方の見直しと改善、5) 学園グローバル構想を踏まえた大学将来構想の検討を重点課題として取り組んできました。

2021 年度は 2020 年度の事業計画の評価をおこない、1) 建学の精神を基盤とした教育及び人材育成、2) 内部質保証システムの運用と教学マネジメントによる教育改善、3) 定員確保のための学生募集活動の工夫と充実、4) 地域連携とグローバル教育の推進：全学国際コースの開設、5) 大学の将来構想（国際教育学部設置）の実現に向けた準備、6) 実効性のある教員の働き方改革の推進を重点課題に掲げて事業計画を立案し取り組みます。

(1) 主な教育・研究の概要

◆「卒業認定・学位授与の方針」

	全学	看護学部	リハビリテーション学部
卒業認定・学位授与の方針	<p>聖隷クリストファー大学は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた保健医療福祉および教育分野の専門職を育成することを教育の基本理念とし、この理念に基づき、看護学部、社会福祉学部、リハビリテーション学部それぞれの教育目的を定めています。</p> <p>各学部は、教育目的に則した教育課程および卒業の資格を定めるとともに、以下に掲げる事項を共通基盤とする到達目標を定めます。</p> <p>卒業においては、各学部の教育課程に学び、各学部が掲げる到達目標に到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、学位を授与します。</p>	<p>看護学部は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づき、人々の健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、人々がその人らしく生活できることを目指した質の高いケアを提供する看護の専門職を育成することを教育目的としています。</p> <p>卒業においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、学位を授与します。</p>	<p>リハビリテーション学部では、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を涵養することを土台に、地域の医療・福祉と生活上の困難を抱える人々の自立及び生活の質の向上を支援するために、専門機関や施設、他職種との連携、共同して、その責務を果たすことができる高度な知識・技術と実践力を兼ね備えたリハビリテーション専門職者を養成することを教育目的としています。</p> <p>卒業においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、学位を授与します。</p>

	全学	看護学部	リハビリテーション学部
卒業認定・学位授与の方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけている。 2. 専門分野の基本的な知識・理論を体系的に修得している。 3. 様々な価値観や立場、意見を尊重した対人関係力と論理的表現力を身につけている。 4. 専門分野や関連諸学の学識を用いて、課題を探求・設定し、多面的に考察することができる。 5. 専門分野の知識・理論や技能を総合的に活用し、課題を解決する実践力を身につけている。 6. 自らの専門性とその責務を自覚し、多職種と連携・協働することができる。 7. 地域および国際社会のニーズを捉え、専門職として自己研鑽することができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけている。 2. 看護の基盤および看護専門分野の基本的な知識・理論や技能を体系的に修得している。 3. 様々な価値観や立場、意見を尊重した対人関係能力と論理的表現力を身につけている。 4. 看護専門分野や諸学の学識を用いて課題を探求し、多面的に考察することができる。 5. 専門分野の知識・理論や技能を総合的に活用し、対象の特性を踏まえた看護の実践力を身につけている。 6. 看護専門職としての専門性とその責務を自覚し、多職種と連携・協働することができる。 7. 地域および国際社会のニーズを捉え、看護専門職として自己研鑽することができる。 <p>なお、養護教諭の教職課程のディプロマ・ポリシーについては、上記に加えて下記の通りとします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育に関する基礎的な教養・技能を身につけている。 (2) 養護教諭として必要な専門的知識・技能を身につけている。 (3) 上記(1)と(2)を活用して児童生徒の健康問題に対応できる実践力を身につけている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけている。 2. リハビリテーション専門分野の基本的な知識・理論・技能を体系的に修得している。 3. リハビリテーション専門職者に求められる様々な価値観や立場、意見を尊重した対人関係力と論理的表現力を身につけている。 4. 専門分野や関連諸学の学識を用いて、リハビリテーション上の課題を探求・設定し、多面的に考察することができる。 5. 専門分野の知識・理論や技能を総合的に活用し、リハビリテーション上の課題を解決する実践力を身につけている。 6. リハビリテーション領域において自らの専門性と責務を自覚し、多職種と連携・協働することができる。 7. 地域および国際社会のニーズを捉え、リハビリテーション専門職として自己研鑽することができる。

	社会福祉学部 社会福祉学科・介護福祉学科	社会福祉学部 こども教育福祉学科
卒業認定・学位授与の方針	<p>社会福祉学科と介護福祉学科は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を涵養することを土台に、地域の福祉と生活上の困難を抱える人々の自立及び生活の質の向上を支援するために、専門機関や施設、他職種との連携、共同して、その責務を果たすことができる高度な知識・技術と実践力を兼ね備えた社会福祉分野の専門職者を養成することを教育目的としています。</p> <p>卒業においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけている。 2. 社会福祉専門職に求められる専門分野の基本的な知識・理論を体系的に修得している。 3. 様々な価値観を持つ人々を理解・受容できる対人関係力と論理的表現力を身につけている。 4. 自らの専門分野や関連諸学の学識を用いて、生活問題、社会問題を認識し、課題を探求・設定し、多面的に考察することができる。 5. 社会福祉分野の知識・技能を総合的に活用し、対象・課題に応じた支援を提供する実践力を身につけている。 6. 社会福祉専門職としての責務と役割を自覚し、住民や多様な専門職と連携・協働することができる。 7. 社会福祉に関する地域社会および国際社会のニーズを捉え、社会福祉専門職として貢献し、自己研鑽することができる。 	<p>こども教育福祉学科は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を涵養することを土台に、地域の福祉と生活上の困難を抱える人々の自立及び生活の質の向上を支援するために、専門機関や施設、他職種との連携、共同して、その責務を果たすことができる高度な知識・技術と実践力を兼ね備えた福祉専門職者を養成することを教育目的としています。</p> <p>卒業においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と高い倫理観と教育・保育の専門職者として必要な豊かな教養を身につけている。 2. 教育・保育の専門職者に求められる専門分野の基本的な知識・理論や技術を体系的に修得している。 3. 様々な価値観や立場、意見を尊重した対人関係力と論理的表現力を身につけている。 4. 設定した課題について自らの専門分野や関連諸学の学識を用いて広い視野で議論し、考察することができる。 5. 専門分野の知識・理論や技術等を総合的に活用して、個々の子どもに合わせて援助・指導する実践力を備えている。 6. 教育・保育の領域において自らの専門性を自覚し、多職種と連携・協働することができる。 7. 教育・保育に関する地域社会・国際社会のニーズを捉え、専門職として使命感を持ちながら貢献し、自己研鑽することができる。

《大学院博士前期課程》

	大学院共通	看護学研究科
卒業認定・学位授与の方針	<p>聖隷クリストファー大学大学院博士前期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、幅広い学識を身につけ、保健医療福祉分野の教育・研究と実務の向上・発展に寄与する人材を養成することを教育の基本理念とし、この理念に基づき、看護学研究科、リハビリテーション科学研究科、社会福祉学研究科それぞれの教育目的を定めています。</p> <p>各研究科はそれぞれ、教育目的に則した教育課程および修了の要件を定めるとともに、以下に掲げる事項を共通基盤とする到達目標を定めます。</p> <p>修了においては、各研究科の教育課程に学び、各研究科が定める目標に到達し、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身に付け、研究・実践および自らの行動に反映することができる。 2. 専門並びに近接分野(領域)の高度な知識・技能を習得し、科学的かつ論理的な思考力を身に付けている。 3. 幅広い視野を持ち、俯瞰的なものの見方と専門応用力を駆使して、問題発見と解決を図ることができる。 4. 研究課題を自ら探索し、独創的な研究テーマを設定して、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿ってデータ収集を行い、結果のまとめ・データ分析・考察を適切に行い、論文としてまとめ発表することができる。 6. 他の専門職者や研究者と連携・協働し、リーダーシップを発揮して課題解決に取り組むことができる。 7. 学際的かつ国際的な視野をもち、海外の専門家と交流することができる。 	<p>看護学研究科博士前期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、幅広い学識を身につけ、看護と看護学の創造に貢献する保健医療福祉分野の教育・研究と実務の向上・発展に寄与する人材を養成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身につけ、看護学分野の質の高い実践、教育・研究に反映することができる。 2. エビデンスに基づいた実践や研究を行うために、看護学分野および関連諸科学における主要な理論・概念を深め、問題解決を図ることができる。 3. 看護学の研究分野以外の幅広い視野をもち、俯瞰的なものの見方と専門的応用力を発揮して、専門性の高い活動を実践することができる。 4. 看護学分野の専攻領域における研究課題に取り組み、独創的な研究テーマを設定して研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿ってデータ収集を行い、結果のまとめ・データ分析・考察を適切に行い、基礎的研究を実施することができる。 6. 他の専門職者や研究者との連携・協働を通し、人々の健康、福祉、安寧に貢献することができる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、海外の専門家や学生と交流ができる。

	リハビリテーション科学研究科	社会福祉学研究科
卒業認定・学位授与の方針	<p>リハビリテーション科学研究科博士前期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、幅広い学識を身につけ、リハビリテーション科学分野の教育・研究と実務の向上・発展に寄与する人材を養成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身に付け、リハビリテーション科学の研究・実践及び自らの活動に反映することができる。 2. リハビリテーション科学について最新の専門知識・技能を習得し、問題解決に向け科学的で論理的な活動が企画できる。 3. 幅広い知識と視野を持ち、専門応用力を通じて、現在の学術及び臨床課題を抽出し解決する方法を提案できる。 4. リハビリテーション科学に関する研究課題を自ら探索し、先行研究の調査と詳読を経て、研究テーマを設定し、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿ってデータ収集を行い、結果のまとめ・分析・考察を行い、論文としてまとめ発表することができる。 6. 他の専門職者や研究者との連携・協働を通してコミュニケーションを図り、人々の健康、福祉、教育の課題解決に取りくむことができる。 7. 学術かつ国際的な視野をもち、海外の専門家や学生と交流ができる。 	<p>社会福祉学研究科博士前期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、幅広い学識を身につけ、社会福祉実践において人びとの生活課題の解決・改善を目指し、その枠組みを理論化し、指導的な役割を果たせる有意な人材を養成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする福祉の思想、倫理観を身に付け、実践・研究・教育に反映することができる。 2. 社会福祉分野における専門知識を習得し、福祉の人間学についての探究心を深め、論理的かつ科学的な思考力を身に付けることができる。 3. 自らの研究分野以外の幅広い視野を持ち、専門応用力を身につけ、専門性の高い活動を実践することができる。 4. 先行研究をレビューした上で、自らの研究課題を発見し、その仮説を構築し、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿って仮説を実証するための研究方法を身につけ、データ収集、データ分析・考察を適切に行い、論文としてまとめ発表することができる。 6. 高度専門職連携をすすめ、その連携・協働を通して、人々の健康・福祉・安寧に貢献できる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、海外の専門家や学生と交流ができる。

《大学院博士後期課程》

	大学院共通	看護学研究科
卒業認定・学位授与の方針	<p>聖隷クリストファー大学大学院博士後期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、精深な学識と高度の専門性を備え、また世界にも通用する保健医療福祉分野の教育・研究者、管理者（高度専門職業人）を育成することを教育の基本理念とし、この理念に基づき、看護学研究科、リハビリテーション科学研究科、社会福祉学研究科それぞれの教育目的を定めています。</p> <p>各研究科はそれぞれ、教育目的に則した教育課程および修了の要件を定めるとともに、以下に掲げる事項を共通基盤とする到達目標を定めます。</p> <p>修了においては、各研究科の教育課程に学び、各研究科が定める目標に到達し、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身に付け、行動規範を示すことができる。 2. 専門分野並びに接近分野（領域）の高度な知識・技能を習得し、科学的、論理的かつ創造的な思考力を身に付けている。 3. 幅広い視野を持ち、俯瞰的なものの見方と専門応用力を駆使して、知の創造に取り組むことができる。 4. 独創的かつ先端的な研究テーマを設定して、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿って研究を実施し、論文としてまとめ発表し、専門分野・領域の発展に貢献することができる。 6. 連携・協働においてリーダーシップを発揮して、人々の健康、福祉、安寧に貢献することができる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、グローバルリーダーとしての活躍を志向できる。 	<p>看護学研究科博士後期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、幅広い学識を身につけ、看護と看護学の創造に貢献する保健医療福祉分野の教育・研究と実務の向上・発展に寄与する教育・研究者、管理者（高度専門職業人）を養成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身につけ、看護学分野の質の高い実践、教育・研究に反映し自らの行動に反映することができる。 2. エビデンスに基づいた実践や研究を行うために、看護学分野および関連諸科学における主要な理論・概念を深め、高度な専門知識・能力を習得し問題解決を図ることができる。 3. 看護学の研究分野以外の幅広い視野をもち、俯瞰的なものの見方と専門的応用力を発揮して、新たな知を創造することができる。 4. 看護学分野の専攻領域の研究課題を自ら発見し、先行研究のレビューを行い、独創的な研究テーマを設定して、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿ってデータ収集を行い、結果のまとめ・データ分析・考察を適切に行い、論文としてまとめ発表することができる。 6. 他の専門職者や研究者との連携・協働を通してリーダーシップを発揮し、人々の健康、福祉、安寧に貢献することができる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、グローバルな活躍をめざし、海外の専門家や学生と交流ができる。

	リハビリテーション科学研究科	社会福祉学研究科
卒業認定・学位授与の方針	<p>リハビリテーション科学研究科博士後期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、精深な学識と高度の専門性を備え、また世界に通用する保健医療福祉分野の教育・研究者、高度専門職業人を育成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身に付け、リハビリテーション科学の研究・実践及び自らの行動に反映することができる。 2. リハビリテーション科学及び近接領域について高度な専門知識・技能を習得し、探求心と論理的思考力によって自ら問題解決を図ることができる。 3. 幅広い視野と教養を持ち、俯瞰的なもの見方と専門応用力を通じて、新たな知を創造する方法を提案できる。 4. リハビリテーション科学に関する研究課題を自ら発見し、先行研究の調査と詳読を経て、独創的な研究テーマを設定して、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿って実施し、自立した研究者・専門職者として論文としてまとめ発表することができる。 6. 他の専門職者や研究者との連携・協働を通してリーダーシップを発揮し、人々の健康、福祉、安寧および学問の発展に貢献することができる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、グローバルリーダーとして国内外の専門家や学生と交流ができる。 	<p>社会福祉学研究科博士後期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、精深な学識を備え、社会福祉分野における研究基盤をつくり、高度に専門化する社会の要請にこたえる研究能力を有する自立した研究者を養成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする福祉の思想、高い倫理観を身に付け、実践・研究・教育に反映することができる。 2. 社会福祉学分野における高度な専門知識を習得し、福祉の人間学について探究心と論理的かつ科学的な思考力を身に付けることができる。 3. 自らの研究分野以外の幅広い領域を俯瞰的に把握し、専門応用力を駆使して、生活問題を切り拓く、新たな知を創ることができる。 4. 自立した研究者として、独創的な研究テーマを設定し、その仮説を構築し、研究計画を立案することができる。 5. 自らの研究を発展させ、研究計画に沿って仮説を実証するための研究方法を身につけ、データ収集、データ分析・考察を適切に行い、論文としてまとめ発表することができる。 6. 高度専門職連携をすすめ、その連携・協働を通してリーダーシップを発揮し、人々の健康・福祉・安寧に貢献できる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、グローバルな活躍をめざし、海外の専門家や学生と学術的な研究交流ができる。

◆「教育課程編成・実施の方針」

	看護学部	リハビリテーション学部
<p>教育課程編成・実施の方針</p>	<p>カリキュラム編成方針は、教育理念・目的、学部の教育目的・目標、DP を達成し、看護師を志すものとして身につけるべき態度・知識・技能を修得するために、1) 建学の精神に基づいた人間性の涵養をはかるための自校教育と、人間理解を深めるための多様な教養科目を配置した教養基礎領域 2) 人間や環境についての基礎知識を幅広い視野から体系的に修得する専門基礎領域 3) 対象者の成長・発達段階および健康段階、看護の場の特性を踏まえて、対象の理解と看護に関する基本的な知識と理論、技能を修得するための看護専門領域—の 3 領域から行うものとします。具体的には以下のようにカリキュラムを編成・実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」を深く理解し、看護専門職者としての高い倫理観と価値観・態度を身につけるために、建学の理念と精神の育成に関わるキリスト教関連科目・自校教育科目を置く。また大学での学びの基礎を築き、幅広い知識を身につけ、多様な文化や価値観・生活背景を理解する人間教育に関わる大学教育導入科目と教養基礎科目を配置する。 2. 看護の対象者の課題を科学的・論理的、総合的に理解し、個別性に応じて支援するために、人が生きる環境や身体・心理面の健康、成長・発達を理解するための専門基礎、看護専門科目を配置する。 3. 様々な立場や意見、生活背景をもつ他者を理解し、自らの考えや意見を、対象に応じて正確・適切に、伝達・説明できるコミュニケーション力と実践力を養うためにキャリア教育科目および専門基礎科目を配置する。 4. 様々な年代の多様な状況にある人々に対して、基礎分野・専門基礎分野・専門分野の知識・理論、情報、技能等を総合的に活用し、根拠に基づく基礎的な看護技術を駆使し、看護を科学的に実践できる能力を養うために看護専門科目を配置する。 	<p>カリキュラムの編成方針は、教育理念・目的、DP、並びに学部の教育目的・目標を達成するため、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を志す者として身につけるべき態度・知識・技能を身につけるため、1) 建学の精神に基づいた人間性の涵養をはかるための自校教育と、人間理解を深めるための多様な教養科目を配置した教養基礎領域 2) 医学的基礎知識と、理学療法・作業療法・言語聴覚学の専門分野の基礎知識を体系的に修得する専門基礎領域 3) 対象者の疾患と病態、障害特性に応じた理学療法・作業療法・言語聴覚療法の実践に必要な検査・評価と治療・指導・援助に関する基本的な知識と理論、技能を修得するための専門領域—の 3 領域から編成します。具体的には以下のようにカリキュラムを編成・実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を理解し、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士として豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけるため、建学の理念と精神の育成に関わる自校教育科目および人間形成に関わるキリスト教関連科目を置く（講義）。また大学での学びの基礎を築き、知識の幅を広げ、物事を総合的に捉え的確に判断できる教養を養うため、大学教育導入科目と教養教育科目を置く。 2. 疾患や病態、心身機能の障害特性を理解し、適切な理学療法・作業療法・言語聴覚療法が実施できるようになるため、医学的基礎知識および各専門分野の基礎的な知識・理論を体系的に理解し、技能を修得する専門基礎科目を置く。 3. 対象者の価値観や立場を尊重した適切な対人関係を築くため、コミュニケーション力と実践力および自己分析能力を養うキャリア教育科目および専門基礎科目を置く。 4. 設定された課題や自身の疑問に対し、自身の専門分野や関連諸学の学識を統合し、課題を探求する態度と研究方法論を身につけるため、専門科目、研究基礎科目および各分野の発展的専門科目を置く。

	看護学部	リハビリテーション学部
教育課程編成・実施の方針	<p>5. 課題解決に向けて、主体的・かつ仲間と協働して看護専門分野や関連諸学の学識を用いて広い視野で検討するために、看護専門科目を置く。</p> <p>6. 看護者の役割と責任を自覚し、保健・医療・福祉の関係職種と協働する能力を養うために、専門科目と専門職連携教育科目を置く。</p> <p>7. 地域および国際的視野で物事をとらえる能力を養うために、国内外の医療、保健、看護を学習する科目や語学、海外研修や国際看護実習を経験する科目を配置する。</p> <p>8. 生涯に亘り看護学・看護実践を追求しようとする意欲と信念・価値観を養うために、これまでの看護学の学修を統合し、専門職としての自覚を高め、責務を理解し自己の看護観や研究的視点を深める統合科目を配置する。</p> <p>養護教諭課程では、上記の看護学部のカリキュラム編成方針に加えて、養護教諭を志す者として身につけるべき態度・知識・技能を修得するために、以下のようにカリキュラムを編成・実施します。</p> <p>(1) 教職の意義や職務、教育に関する基礎的知識、児童生徒への理解・対応に必要な発達等の知識を修得するために、教職に関する科目を配置する。</p> <p>(2) 児童生徒の心身の健康課題に対応できる知識・技能を修得するために、養護に関する科目を配置する。</p> <p>(3) 学校現場において児童生徒や教職員と関わり、学校保健活動を行う実践力を養うために、教育実践に関する科目を配置する。</p>	<p>5. 対象者の疾患と病態、障害特性を適切に理解し、基礎的な理学療法・作業療法・言語聴覚療法の基礎的な検査・評価と治療・指導・援助技能を修得するため、専門科目および臨床教育科目を置く。</p> <p>6. 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割と責任を自覚し、多職種との連携・協働が実践できる態度と知識・技能を修得するため、専門科目と専門職連携教育科目を置く。</p> <p>7. 地域および国際社会の課題に関心を深め、国際感覚および語学力・表現力を養うため、語学や海外研修および実習の科目を置く。</p>

	社会福祉学部 社会福祉学科・介護福祉学科	社会福祉学部 こども教育福祉学科
教育課程編成・実施の方針	<p>カリキュラム編成方針は、社会福祉士・介護福祉士を志す者として身につけるべき態度・知識・技術を修得するために、1) 建学の精神に基づいた人間性の涵養をはかるための自校教育と人間理解を深めるための多様な教養基礎科目を配置した教養基礎領域 2) 関連諸学の基礎知識や社会福祉士・介護福祉士の基礎知識を体系的に修得する専門基礎領域 3) さまざまな対象者の有する課題を科学的、論理的、総合的に理解し支援するために必要な社会福祉・介護福祉の基本的な知識と理論、および技術を修得するための専門領域—の3領域から編成します。具体的には上記の教育目標により、以下のカリキュラムを編成・実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」を深く理解し、社会福祉、介護福祉の専門職者としての高い倫理観と価値観・態度を身につけるために、建学の理念と精神の育成に関わる自校教育科目および人間形成に関わるキリスト教関連科目を置く。また大学での学びの基礎を築き、幅広い知識を身につけ、物事を総合的に捉え的確に判断できる教養を養うために大学教育導入科目と教養科目を置く。 2. 対象者の多様性を理解し、適切な社会福祉援助の実践ができるようになるため、関連諸学の基礎知識や社会福祉の各専門分野の基礎的な知識・理論や技能を体系的に理解し修得するために専門基礎科目を置く。 3. 対象者を全人的に理解し、適切な対人関係を築くことのできるコミュニケーション力と実践力を養うためにキャリア教育科目および専門基礎科目を置く。 4. 対象者を理解し、基礎的な社会福祉援助法の実践のため、各専門分野の基礎的な評価や援助技術を修得するために専門科目を置く。 	<p>カリキュラム編成方針は、小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等の教育・保育専門職者を志す者として身につけるべき態度・知識・技術を修得するために、1) 建学の精神に基づいた人間性の涵養をはかるための自校教育と人間理解を深めるための多様な教養基礎科目を配置した教養基礎領域 2) 関連諸学の基礎知識や小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等の基礎知識を体系的に修得する専門基礎領域 3) さまざまな対象者の有する課題を科学的、論理的、総合的に理解し支援するために必要な小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等の基本的な知識と理論、および技術を修得するための専門領域—の3領域から編成します。具体的には上記の教育目標により、以下のカリキュラムを編成・実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」を深く理解し、小学校教諭、幼稚園教諭、(保育教諭)、保育士の教育・保育の専門職者として高い倫理観と価値観・態度を身につけるために、建学の理念と精神の育成に関わる自校教育科目および人間形成に関わるキリスト教関連科目を置く。また大学での学びの基礎を築き、幅広い知識を身につけ、物事を総合的に捉え的確に判断できる教養を養うために大学教育導入科目と教養科目を置く。 2. 対象者の多様性を理解し、適切な教育・保育の指導・援助の実践ができるようになるため、関連諸学の基礎知識や各専門分野の基礎的な知識・理論や技能を体系的に理解し取得するために専門基礎科目を置く。 3. 対象者を全人的に理解し、適切な対人関係を築くことのできるコミュニケーション力と実践力を養うためにキャリア教育科目および専門基礎科目を置く。 4. 対象者を理解し、基礎的な教育・保育方法の実践のために、各専門分野の基礎的な評価や指導・援助の技術を修得するために専門科目を置く。

	社会福祉学部 社会福祉学科・介護福祉学科	社会福祉学部 こども教育福祉学科
教育課程編成・実施の方針	<p>5. 設定された課題や自身の疑問に対し、専門分野や関連諸学の学識を統合し、課題を探究する態度と知識、技術を身につけるために専門科目を置く。</p> <p>6. 社会福祉、介護福祉の専門職者の役割と責任を自覚し、多職種との連携・協働が実践できる態度と知識・技術を修得するために専門科目と専門職連携教育科目を置く。</p> <p>7. 地域および国際社会の課題に関心を深め、国際的にも活躍できる国際感覚および語学力・表現力を養うために語学や海外研修および国際福祉実習の科目を置く。</p>	<p>5. 設定された課題や自身の疑問に対し、自分の専門分野や関連諸学の学識を統合し、課題を探究する態度と知識、技術を身につけるために専門科目を置く。</p> <p>6. 小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等の教育・保育専門職者の役割と責任を自覚し、多職種との連携・協働が実践できる態度と知識・技術を修得するために専門科目と専門職連携教育科目を置く。</p> <p>7. 地域および国際社会の課題に関心を深め、国際的にも活躍できる国際感覚(異文化理解)および語学力・表現力を養うために語学や海外研修、国際ボランティア及び国際福祉実習の科目を置く。</p>

《大学院博士前期課程》

	大学院共通	看護学研究科
教育課程編成・実施の方針		<p>教育理念・目的及び DP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神に基づいた高い倫理観と関連諸学の幅広い知識を修得するための科目を置く（共通科目）。 2. 各専門分野の基盤となる主要な概念と理論及び研究方法等について体系的に修得するための科目を置く（基盤科目）。 3. 各専門分野の最新の研究動向と知見を修得した上で、研究課題に取り組み、質の高い研究論文を完成させるための科目を置く（専門科目）。 4. 高度実践看護コースにおいては、高度看護実践に必要な高い専門知識と高度看護実践能力を修得するための資格認定に必要な科目を置く（基盤科目・専門科目）。
		<p>リハビリテーション科学研究科</p> <p>教育理念・目的及び DP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神に基づいた高い倫理観と関連諸学の幅広い知識を修得するための科目を置く（共通科目）。 2. 各専門分野の基盤となる主要な概念と理論、専門的臨床技能及び研究方法等について体系的に修得するための科目を置く（基盤科目）。 3. 各専門分野の最新の研究動向と知見を修得した上で、研究課題に取り組み、質の高い研究論文を完成させるための科目を置く（専門科目）。
		<p>社会福祉学研究科</p> <p>教育理念・目的及び DP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神に基づいた高い倫理観と社会福祉学に求められる関連諸科学の幅広い知識を修得するための科目を置く（共通科目）。 2. 社会福祉原理・援助領域に必要な各専門分野の基盤となる主要な概念と理論及び研究方法等について体系的に修得するための科目を置く（基盤科目）。 3. 各専門分野の最新の研究動向と知見を修得した上で、研究課題に取り組み、質の高い研究論文を完成させるための科目を置く（専門科目）。

《大学院博士後期課程》

		大学院共通	看護学研究科
教育課程編成・実施の方針			<p>教育理念・目的及びDP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多職種と連携する資質を磨き、実務者として高度な知識と指導力を身につけるための科目を置く（共通科目）。 2. 専門性を深化させ独創的研究を行い、質の高い研究を完成させることを通して新たな知を創造するための科目を置く（専門科目）。
			リハビリテーション科学研究科
		<p>教育理念・目的及びDP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多職種と連携する資質を磨き、倫理観、学識、幅広い知識、人間性及び指導力を身につけるための科目を置く（共通科目）。 2. 専門性を深化させ独創的研究を行い、質の高い研究を完成させることを通して新たな知を創造するための科目を置く（専門科目）。 	<p>教育理念・目的及びDP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉の高度専門職として、多職種連携ができる資質を磨き、高度な知識と指導力を身に付けるための科目を置く（共通科目）。 2. 社会福祉学の自立した研究者として、専門性を進化させ独創的研究を行い、質の高い研究を完成させることを通して新たな知を創造するための科目を置く（専門科目）。

◆「入学者受入れの方針」について

		看護学部	リハビリテーション学部
入学者受入れの方針	どのような力を発展・向上させるのか	<p>看護学部では、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づく深い人間理解の上に、人々の健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、人々がその人らしく生活できることを目指した質の高いケアを提供するために、進歩する看護専門分野および関連諸学の知識と技能を統合し、多職種連携・協働してその責務を果たし、国内外の新しい動向にも対応できる看護学分野の指導的人材として労を厭わぬ実践ができる看護専門職者を育成することを目的とします。</p>	<p>リハビリテーション学部では、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づく深い人間理解の上に、高度な知識・技能を修得し、また多職種と連携・協働してその責務を果たし、国内外の新しい動向にも対応できるリハビリテーション分野の指導的人材となる理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を育成することを教育目的とします。したがって、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士として必要な「相手の心を理解し尊重するという基本的態度」と「高度な専門的知識および実践的な専門技能」の二つの能力を修得し発展・向上させます。</p>

		看護学部	リハビリテーション学部
入学者受入れの方針	求める学生像	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と同じように、他の人々を尊ぶことのできる人間性を備えた看護専門職を志す人 ・科学的思考力を身につけ、深い教養に支えられた看護専門職をめざして学ぶ意欲のある人 ・他の医療保健福祉分野の専門職を志す仲間と共に連携・協働して課題解決することに関心が高い人 ・看護専門職として社会に貢献する意欲のある人 	<p>前述の人材育成を目標としていることから、次のような資質を有する学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」を尊重し、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士として人格を磨くことのできる人 ・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の使命と役割を理解し、それを担う意志のある人 ・教養と理学療法学・作業療法学・言語聴覚学の知識と技能を身につけ成長するため、自ら学ぶ意欲のある人 ・他の医療保健福祉分野の専門職者と多職種連携・協働して課題解決に努め、リーダーとして成長しようとする人 ・理学療法学・作業療法学・言語聴覚学分野の発展と、地域社会および国際社会の課題解決に貢献するため自己研鑽できる人 ・理学療法学・作業療法学・言語聴覚学の学問の発展のために国内外で学究活動に携わることを志す人
	大学入学までに身につけて欲しい教科・科目等	<p>高等学校の各教科において、本学部の目的、目標を達成するために大切な知識・態度を身につけていることが望まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語については、他者による表現を理解出来る読解力と、自己の考え・感情を適切に表す表現力 ・地理歴史・公民については多様な文化や価値観、生活背景をもつ他者を理解し、受け入れるための基礎知識 ・数学については、論理的な思考を可能とするための数学的素養 ・理科については、看護を科学的に実践する能力の基礎となる自然科学についての基礎知識 ・英語については、広く国際社会の人達とのコミュニケーションを実現できる能力としての英語理解と英語による表現力 	<p>人の心身機能・構造および活動とそれらの障害を理解し、理学療法学・作業療法学・言語聴覚学の理論と技能を修得する上で、高等学校までに次のような基礎学力を有していることが望まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語については、物事を的確に理解し、論理的に思考し表現するために必要な国語の文章力と読解力、言語による思考力および伝達力 ・地理歴史・公民については、多様な文化や歴史、価値観、生活背景をもつ他者を理解するために必要な基礎知識 ・数学については、論理的かつ数量的に物事を考え表現するために必要な数学的知識と技能 ・理科については、自然の現象や人体に関する諸問題を科学的に理解するために必要な自然科学（物理、化学、生物）に関する基礎知識 ・英語については、国際的視点で物事をとらえ、諸外国の人々と交流するために必要な基礎的な英語の理解力とコミュニケーション力

		看護学部	リハビリテーション学部
入学者受入れの方針	入学者選抜の基本方針	<p>看護学部では、複数の受験機会と多様な入試を提供しています。看護学部の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、一般選抜の他に総合型選抜、学校推薦型選抜、奨学生選抜、社会人選抜を実施しています。本学の入試では、個別学力検査、大学入学共通テスト、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別学力検査、大学入学共通テストでは、高等学校において修得した基礎的な学力（知識・理解、思考力・判断力・表現力）を評価します。 ・調査書は、高校時代に取り組んできた学習や活動の履歴を見ます。 ・面接では、他者と適切な人間関係を築く能力を評価します。 ・小論文では、総合的な能力「読解力、発想力、論理的思考力、表現力」を評価します。 	<p>リハビリテーション学部では、学力の3要素である①「基礎的・基本的な知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」、③「主体性をもって他者と協働して学ぶ態度」を総合的にみる、複数の受験機会と多様な入試を提供しています。本学の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、一般選抜の他に総合型選抜、学校推薦型選抜、奨学生選抜を実施しています。本学の入試では、個別学力検査、大学入学共通テスト、調査書、グループワーク、面接および小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別学力検査、大学入学共通テストでは、高等学校において修得した基礎的な学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）をみます。 ・調査書は、高校時代に取り組んできた学習や課外活動の履歴から、主体性や協調性をみています。 ・グループワークでは、他者と適切な人間関係を築く能力を評価します。 ・面接では、目的意識、意欲、自己表現力、目標や将来のビジョンを確認しています。 ・小論文では、総合的な読解力、発想力、論理的思考力、表現力をみています。

		社会福祉学部 社会福祉学科	社会福祉学部 こども教育福祉学科
入学者受入れの方針	どのような力を発展・向上させるのか	<p>建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を養い、地域の福祉と生活上の困難を抱える人々の自立を支援する高度な知識・技術と関係多職種と連携、協働して、その責務を果たすことができる実践力を兼ね備えた福祉専門職の育成を目指しています。そのために地域と支援を必要とする人々を深く理解し、対人関係を築く能力を養い、社会福祉の専門知識、技術を修得することを目標としています。</p>	<p>建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を養い、地域の教育・福祉のために、関係多職種と連携、協働して、その責務を果たすことができる実践力を兼ね備えた教育・福祉専門職の育成を目指しています。そのために地域と対象者を深く理解し、対人関係を築く能力を養い、教育・福祉の専門知識、技術を修得することを目標としています。</p>

		社会福祉学部 社会福祉学科	社会福祉学部 こども教育福祉学科
入学者受入れの方針	求める学生像	<ul style="list-style-type: none"> ・人間が好きで、豊かな感性をもつ人 ・人間社会に関心をもち、社会的不公正を問う人 ・人とかかわり、多くのことを吸収し、協働を大切に人 ・社会福祉、介護福祉を学び、この分野でリーダーとして活躍したいという強い意志と意欲をもつ人 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間が好きで、豊かな感性をもつ人 ・人間社会に関心をもち、人間と社会の発展に寄与する熱意のある人 ・人とかかわり、多くのことを吸収し、協働を大切に人 ・保育・教育（幼稚園・小学校）・社会福祉を学び、よりよい保育・教育・福祉の実現を目指して、高い倫理観と使命感をもって主体的に学修に専念する人
	大学入学までに身につけて欲しい教科・科目等	<p>高等学校の各教科において、本学部の目的、目標を達成するために大切な知識・態度を身につけていることが望まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語については、論理的思考をするための基礎となる読解力、表現力 ・地理歴史・公民については、地域社会に働きかける専門職者として、社会福祉に関する法律・制度を理解し、多様な文化や価値観、生活背景をもつ他者を理解し、受け入れるための基礎知識 ・数学については、問題解決を可能とするための論理数学的思考力 ・理科については、専門領域を科学的に実践する能力の基礎となる自然科学についての基礎知識 ・英語については、国際的視点で物事をとらえる能力の基礎となる語学力 	<p>高等学校の各教科において、本学部の目的、目標を達成するために大切な知識・態度を身につけていることが望まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語については、保育・教育・福祉の専門職者として論理的思考及びコミュニケーション力を支える読解力、表現力 ・地理歴史・公民については、保育・教育・福祉の専門職者として、多様な文化や価値観、生活背景をもつ他者を理解し、受け入れるための基礎知識 ・数学については、保育・教育・福祉の専門職者として、問題を系統立てて考え、解決に導くための論理数学的思考力 ・理科については、保育・教育・福祉の専門職者として必要となる自然科学についての基礎知識 ・英語については、国際的視点で物事をとらえる能力の基礎となる語学力と「世界」に視野を広げる挑戦意欲とコミュニケーション力
	入学者選抜の基本方針	<p>社会福祉学科では、複数の受験機会と多様な入試を提供しています。本学の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、一般選抜の他に総合型選抜、学校推薦型選抜、奨学生選抜、3年次編入学試験を実施しています。入試では、個別学力検査、大学入学共通テスト、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別学力検査、大学入学共通テストでは、高等学校において修得した基礎的な学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を見ています。 ・調査書は、高校時代に取り組んできた学習や活動の履歴を見ています。 ・面接では、他者と適切な人間関係を築く能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を見ています。 ・小論文では、総合的な能力「読解力、発想力、論理的思考力、表現力」を見ています。 	<p>こども教育福祉学科では、複数の受験機会と多様な入試を提供しています。本学の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、一般選抜の他に総合型選抜、学校推薦型選抜、奨学生選抜を実施しています。入試では、個別学力検査、大学入学共通テスト、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別学力検査、大学入学共通テストでは、高等学校において修得した基礎的な学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を見ています。 ・調査書は、高校時代に取り組んできた学習や活動の履歴を見ています。 ・面接では、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を見ています。 ・小論文では、総合的な能力「読解力、発想力、論理的思考力、表現力」を見ています。

《大学院博士前期課程》

入学者受入れの方針	大学院共通	看護学研究科
	リハビリテーション科学研究科	社会福祉学研究科
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を理解する意欲を持っている人 2. リハビリテーション科学領域の実践や研究に必要な基本的倫理、知識、技能を備え、研究心を持っている人 3. リハビリテーション科学領域の臨床実践や教育実践における課題に気づき、口頭及び文書で論理的に表現することができる人 4. それぞれの実践の中で生じた課題の解決に意欲を持っている人 5. 自律的に活動し、主体性を持って多様な人々と協働して学ぼうとする意欲を持っている人 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする高い倫理観を持って実践・教育・研究を志す人 2. 看護学領域の専門職の実践に必要な基本的倫理、知識、技能を備え、研究心を持っている人 3. 看護学領域の臨床実践や教育実践における課題に気づき、その意味を判断し、口頭及び文書で論理的に表現することができる人 4. 看護の実践の中で生じた課題の解決に意欲を持っている人 5. 自律的に活動し、主体性を持って多様な人々と協働して学ぼうとする人
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする高い倫理観を持って実践・教育・研究を志す人 2. 社会福祉専門職の実践に必要な基本的倫理、福祉の思想、知識、技術を備え、研究心を持っている人 3. 社会福祉の高度専門職者として、臨床や教育実践における課題に気づき、その意味を判断し、口頭及び文書で論理的に表現し、社会的に問題の改善ができる人 4. 社会福祉実践の中で生じた課題の解決に意欲と科学的な分析力、研究方法を持っている人 5. 社会福祉実践の現場から学び、自立的に活動し、主体性を持って専門職連携、多職種連携を図り、協働のネットワークを構築する人 	

《大学院博士後期課程》

入学者受入れの方針	大学院共通	看護学研究科
	リハビリテーション科学研究科	社会福祉学研究科
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を理解する意欲を持っている人 2. リハビリテーション科学領域の研究に必要な基本的倫理、知識、技能を備え、研究を行った経験を有している人 3. リハビリテーション科学領域の研究課題に気づき、その意味を判断し、口頭及び文書で論理的に表現することができる人 4. それぞれの実践や研究の中で生じた独自の課題の解決に意欲を持っている人 5. 自律的に活動し、主体性を持って多様な人々と協働して学び、将来共に活動する志向を持っている人 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする高い倫理観を持って実践・教育・研究を志す人 2. 看護学領域の専門職の実践に必要な基本的倫理、知識、技能を備え、研究心を持っている人 3. 看護学領域の臨床実践や教育実践における課題に気づき、その意味を判断し、口頭及び文書で論理的に表現することができる人 4. 看護の実践の中で生じた課題の解決に意欲を持っている人 5. 自律的に活動し、主体性を持って多様な人々と協働して学ぼうとする人
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする高い倫理観を持って実践・教育・研究を志す人 2. 社会福祉専門職の実践に必要な基本的倫理、福祉の思想、知識、技術を備え、研究心を持っている人 3. 社会福祉の高度専門職者として、臨床や教育実践における課題に気づき、その意味を判断し、口頭及び文書で論理的に表現し、社会的に問題の改善ができる人 4. 社会福祉実践の中で生じた課題の解決に意欲と科学的な分析力、研究方法を持っている人 5. 社会福祉実践の現場から学び、自立的に活動し、主体性を持って専門職連携、多職種連携を図り、協働のネットワークを構築する人 	

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校は、介護福祉の知識・技術・価値・理念と隣人愛の精神が統合された人間教育を行い、自分のことのように他者を考え「愛の実践」ができる介護福祉士を養成することを目的としています。

2020年度はレベルの高い教育を実践するために、教員全員がタブレット端末等のICT機器を利用し調べたりする授業を実施したり、プレゼンテーションでプロジェクターを活用するなどのアクティブラーニングの授業を展開し、学生の主体的な学びを高めてきました。また、学生の満足度が高められるよう学校運営をしてきました。具体的には、ピアノコンサートやキャロリング、クリスマス祝会等の行事を通して、多様な視点が持て、人間力の涵養を図りました。さらに、学生間で学力の差が大きくても、基礎を確実に理解し、全員が国家試験に合格できるように理解の進まない学生や外国人留学生に対しては補講等の個別指導を徹底しました。

2021年度は開設から6年目を迎える節目として、1978年のヘルパー学園の教育を学び、初心に帰りその理念を発展的に継承していくことを計画します。先人たちが目指した教育をさらに発展できるように、教員自身が自覚的に教育や学生支援に取り組みます。また、留学生7名が入学しますので、外国人も日本人も違和感なく、同じ空間で学びができるように、教育環境を整備し日々の学生支援を強化します。同様に学力の低い学生や、勉強の仕方がわからない学生等、多種多様な困難性を抱えた学生も、だれ一人疎外感を感じる事のないような温かい、人間性溢れた学級運営を行います。

聖隷クリストファー中・高等学校

*聖隷クリストファー高等学校は中学校との6年間一貫教育を行っています。そのため、目標や取り組みは、中学校から繋がるものとして設定しています。

◆本校の目標

本校の教育目標を以下に掲げました。

- ①建学の精神である「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」という聖書の言葉をもとに、真理と愛に立脚し「人のために役立つ」姿勢を持ち、明るい未来を拓き実践する人材の育成を目指す。
- ②「隣人愛を基盤とした聖隷学園一貫グローバル人材推進構想」を実現し、日本と世界に発信し、地域に信頼される学校を目指す。

生徒一人一人が、この学園での学びを通して、自分に与えられている個性や賜物(たまもの)を発見し、人生の意味を考え進路を選び、この学園で培われた価値観を土台として生きる人となるよう願っています。

普遍の価値に軸足を置き、多様に変化する現代社会に責任を持って関われる、躍動する学園であることを目指します。

聖隷クリストファー小学校

◆本校の教育理念

本校の教育理念は以下のとおりです。

キリスト教精神の隣人愛を基に、日本文化を理解した上で、グローバル社会に貢献できる児童の育成を目指します。

そのために、奉仕活動や学校生活を通して、他人を思いやる心や行動力を養います。また、身の回りの現象を題材にしながら教科横断型の探究学習で、探究力、思考力、コミュニケーション力や表現力を養います。それが基礎となり、母語の日本語を重視した上での英語イマージョン教育を行うことによって、二言語習得を目指し、多様な見方や場に応じた志向・判断ができる人を育てます。

このように、隣人愛に根差し、探究学習と英語イマージョンを融合した聖隷の教育によって、未来に向かって主体的に学んでいく力や自信をもって挑戦していく姿勢が身につくよう、一人ひとりの子どもを大切に導いていきます。

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園（以下クリストファーこども園）は、2011年4月に静岡県西部で初めて開園した「幼保連携型認定こども園」です。園の基本理念である「キリスト教主義を基盤に心身ともに健やかなこどもの成長を育む園」の下、「愛・思いやり・たくましさ・いのち・表現力・自立」を園の目標として、主体性や意欲、他者を思いやる心など豊かな人間性を育てていくとともに、異年齢や多様な人々との関りを通して、人と関わる力が育まれることを目指しています。

◆基本理念

「キリスト教主義を基盤に、心身ともに健やかなこどもの成長を育む園」

◆基本方針

- ① 聖隷学園の建学の精神である「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」という聖書に示される愛の心をもつことを願っています。創造主（神）から一人ひとりに与えられた尊い命が守られながら、生き活きと伸びていき、それぞれの内側にある力が十分に発揮されると同時に、周囲の人々と共に生きることに喜びや楽しみを感じ、人と関る力を身につけることを目指します。
- ② 発達や学びの連続性という視点から小学校への接続を意識し、就学前の教育・保育を一体的・総合的に展開します。幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容に沿って「生きる力」の基礎を身につけていくことを目標とします。

- ③ 保護者や地域住民のために子育て支援を充実させます。皆で子どもの成長を助け喜び合えるように、子どもに関わるあらゆる分野の人々が協力し、子育て環境の向上に努めます。
- ④ 聖隷クリストファー大学附属の園として、大学の教員と協力し、保育の質の向上のために、また乳幼児を取り巻くさまざまな問題の解決のための実践的研究を行います。その成果を公開・発表し、幼児教育・保育業界のモデルとなる保育プログラム作りを目指します。

◆園目標

- <愛> 神様と周りの人に愛されていることが分かり、自分を大切にできる気持ちをもつ。
- <思いやり> 様々な人々との関わりを通して、思いやりの気持ちを育み共に生きる喜びを知る。
- <たくましさ> 自然の中で思いきり遊び、感性やたくましい心と体を育む。
- <いのち> 食に関わる体験を積み、いのちがつながりあい、支えられていることに感謝する。
- <表現力> 自ら様々なことに取り組み、考えたり表現する力を身につける。
- <自立> 生活に必要なことが分かり、自分から身に付けようとする。

◆保育の特色

- ① 自然の中での多様でダイナミックな体験を通して、生き活きとたくましく成長することを目指しています。
- ② 大学やその他の専門機関との連携により学問的根拠に裏づけられた、質の高い幼児教育・保育を実践し、子どもの健全な育ちを目指しています。
- ③ 皆で子どもの成長を助け喜びを共有するという意識に立って、子育て支援の充実、子育て環境の向上に努めています。

(2) 中期的な計画（教務・人事・施設・財務等）及び事業計画進捗・達成状況

聖隷クリストファー大学

中長期事業計画「未来創造躍進プラン」

<建学の精神> キリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」

<教育理念> 建学の精神を教育・研究・諸活動の基本理念とし、建学の精神に裏付けられた保健医療福祉・教育の専門職業人を育成することによって、人々の健康と幸福、そして地域と世界の福祉に貢献します。

<ビジョン> 保健医療福祉・教育の未来を創造する 教育・研究・実践のフロンティア大学

<キャッチコピー> 隣人愛と知の技で 共に生きる社会の実現へ 聖隷クリストファー大学

<ミッションステートメント>

- 1) 建学の精神であるキリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」を大学運営並びに教育・研究・実践に活かし、人々の幸福と健康、地域とアジアの保健医療福祉・教育の未来創造に貢献する。
- 2) 保健医療福祉・教育の総合大学としての学際性を活かした独創的教育を提供し、建学の精神に裏付けられた豊かな人間性と倫理観、教養と専門的知識・技能を兼ね備え、一人ひとりのために労を厭わぬ専門職を育成する。
- 3) 大学院博士前・後期課程をもつ大学として、卓越した研究成果と知を創造し、保健医療福祉・教育の発展に貢献する高度専門職者並びに研究・教育者を輩出する。
- 4) 社会に開かれた大学として、地域社会における保健医療福祉・教育に関する教育・研究・実践の拠点を形成し、共生社会の実現への使命を果たす。
- 5) 国際的な保健医療福祉・教育の課題解決に向けて、本学の人的・知的・技術的・教育環境の資源（聖隷ブランド）を活かした国際支援及び人材育成により国際貢献に資する。
- 6) 時代を先見し、自律的な自己点検評価と大学改革の実行により、保健医療福祉・教育のモデル大学として学界・教育界をリードする。
- 7) 教職員一人ひとりが個人として尊重され自律性が認められるとともに、自己成長と協働により大学（聖隷学園）の新たな価値創造と発展に努める。

＜長期目標（10年後）＞

- 【教 育】 建学の精神と教育理念のもと、聖隷ブランドを活かした先進的かつ独創的な教育環境と教育課程及び教育方法による「聖隷教育モデル」を創出する。
- 【研 究】 保健医療福祉・教育分野の独創的かつ学際的な研究を推進するとともに、国内及びアジアの中核となる研究・教育拠点を形成し、新たな学問体系を創造する。
- 【学生支援】 隣人愛の精神を涵養し、主体的に豊かな学生生活を送ることができる「愛と活気あるグローバルキャンパス」をつくり、愛校心と帰属意識を醸成する。
- 【就職・キャリア支援】 保健医療福祉・教育の動向と展望に基づいた病院施設等との連携体制の再整備と、卒業生・同窓会との強固なパートナーシップに基づく相互支援体制を構築する。
- 【地域連携】 地域の保健医療福祉・教育の基幹大学として、地域の保健医療福祉の発展に向けた大学-地域連携による教育・研究・実践の地域モデルを構築する。
- 【国際化】 国際的に競争力ある大学を目指して、積極的に国際交流・支援及び人材育成を展開し、アジアの保健医療福祉・教育の教育・研究・実践のハブ（Hub）大学に発展する。
- 【学生募集】 情報と企画に基づく戦略的広報活動と、高大連携及び幼小中高大・卒業生循環型の募集活動等により、募集定員を堅持するとともに、アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）に基づいた人材を受け入れる。
- 【基盤整備】 質の高い教育・研究を支える人事・組織・施設設備の充実を図るとともに、内部質保証システムに基づいた自律的な自己点検・評価を実施し、大学運営及び教育研究の質の向上を促す。また、建学の精神と教育理念を遵守・維持し継続的発展を担う幹部教職員を育成する。

<短期目標・短期計画一覧>

最重点課題

- (1)建学の精神を基盤とした教育及び人材育成
- (2)内部質保証システムの運用と教学マネジメントによる教育改善
- (3)定員確保のための学生募集活動の工夫と充実
- (4)地域連携とグローバル教育の推進:全学国際コースの開設
- (5)大学の将来構想(国際教育学部設置)の実現に向けた準備
- (6)実効性のある教員の働き方改革の推進

分類	短期目標 (2021~2023年度)	短期目標：客観指標 (2021~2023年度)	短期計画 (2021~2023年度)
看護学部	<ol style="list-style-type: none"> ①学部・専攻科の教育特徴・資源を活かした教育課程及び教育方法を創出し、卓越した独創的な教育を発展させる。 ②学位授与方針に基づいて適正な成績評価を行い、教育の質を保証し、社会に貢献する専門職を輩出する。 ③社会の看護師養成の政策動向を的確に判断し、それに適う学部・専攻科一大学院（CNS含む）一特定行為研修が有機的に機能する組織体制を構築し、人材養成のための教育を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実質倍率（一般入試前期受験者数：合格者数）：1.8以上 ○偏差値：47.5以上 ○標準修業年限卒業率：95%以上 ○国家試験の合格率：全国大学平均値以上 ○学部からの大学院進学者：10名 ○卒業生満足度「卒業前に：この大学で学べたことは有意義であった」：70p以上 ○就職満足度「進路について：希望する進路先に就職、または進学することができた」：80p以上 ○保護者満足度「本学に進学させてよかったか」：95%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○学部・専攻科の教育特徴・資源を活かし社会のニーズを捉えた教育課程の作成と評価体制 ○ICT活用による教育の質向上のための教育力向上、シミュレーション教育の充実、教材開発、臨床・他大学との協働 ○学部・専攻科一大学院（CNS含む）一特定行為研修が有機的に機能する組織・教育体制の構築（領域統合・再編、教員配置、専攻科の将来構想の策定を含む） ○教員充足と人材育成 ○教育体制と教育環境の充実
社会福祉学部	<ol style="list-style-type: none"> ①学部・学科の教育特徴・資源を活かした教育課程及び教育方法を創出し、卓越した独創的な教育を発展させる。 ②学位授与方針に基づいて適正な成績評価を行い、教育の質を保証し、社会に貢献する専門職を輩出する。 ③社会の要請に応え得る質と数の介護福祉士・社会福祉士・幼稚園教諭・保育士・小学校教諭を養成し輩出する。 ④将来の社会福祉と教育分野の人材養成に適う、社会福祉学部の将来構想（「国際教育学部」）を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○定員充足 ○偏差値：40以上 ○標準修業年限卒業率：95%以上 ○国家試験の合格率：全国大学平均値以上 ○介護福祉士養成：25名 ○社会福祉士養成：45名 ○精神保健福祉士：15名 ○小学校教諭養成：10名 ○卒業生満足度「卒業前に：この大学で学べたことは有意義であった」：60p以上 ○就職満足度「進路について：希望する進路先に就職、または進学することができた」：60p以上 ○保護者満足度「本学に進学させてよかったか」：95%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○学生定員充足 ○教員体制と教育環境の充実 ○介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士の人材育成と輩出 ○小学校教諭・幼稚園教諭・保育士および国際バカロレア教員の人材育成と輩出 ○「国際教育学部」設置に向けて検討を行う。

分類	短期目標 (2021～2023 年度)	短期目標：客観指標 (2021～2023 年度)	短期計画 (2021～2023 年度)
リハビリテーション学部	<p>①学部・学科の教育特徴・資源を活かした教育課程及び教育方法を創出し、卓越した独創的な教育を発展させる。</p> <p>②学位授与方針に基づいて適正な成績評価を行い、教育の質を保証し、社会に貢献する専門職を輩出する。</p> <p>③国際リハビリテーションコースの着実な実施により、国際的活躍を指向するリハビリテーション専門職者と教員の養成を推進する。</p>	<p>○実質倍率（一般入試前期受験者数：合格者数）：2.0 以上</p> <p>○偏差値：50.0 以上</p> <p>○標準修業年限卒業率：95%以上</p> <p>○国家試験の合格率：全国大学平均値以上</p> <p>○国際コース履修者：1 学年 7 名，3 学年 21 名</p> <p>○国際的活動に関連する進路選択：2 名 （進路）国際支援に関連する団体施設等への就職，大学院，留学など</p> <p>○卒業生満足度「卒業前に：この大学で学べたことは有意義であった」：PT 学科・OT 学科 70 p 以上 / ST 学科 50 p 以上</p> <p>○就職満足度「進路について：希望する進路先に就職、または進学することができた」：70 p 以上</p> <p>○保護者満足度「本学に進学させてよかったか」：95%以上</p>	<p>○国際リハビリテーションコースの発展（卒業生の進路）</p> <p>○定員充足のための着実な広報活動</p> <p>○企業との連携体制の形成および強化（連携モデルの構築）</p>
看護学研究科	<p>①保健医療福祉分野のイノベーションをリードするため、高度な専門的知識と技能を有し社会の指導的立場に立つ高度専門職者及び分野の発展に寄与する創造性豊かな研究者・教育者を育成する。</p> <p>②研究活動を発展させ、その成果を国内外に還元して、保健医療福祉の新たな知の創造を目指す。</p>	<p>○前期・後期大学院生の定員充足</p> <p>○学部からの進学者数：10%以上</p> <p>○各研究科留学生：1 名以上</p> <p>○国際コンファレンスの定例開催</p>	<p>○学部・学科・研究科の教育特徴の創出</p> <p>○学内循環型の人材育成の推進</p> <p>○地域の専門職、就職先等の声を反映した教育機関・病院施設等との連携とキャリア教育の充実</p> <p>○卒業生及び同窓会との強固な相互支援体制の構築</p>
社会福祉学研究科	<p>③アジアを中心としたグローバルな保健医療福祉の研究・教育拠点を形成する。</p>		<p>○博士前期・後期（5 年間）一環コース設計と開設</p> <p>○国際共同研究・国際共同教育の実践</p> <p>○研究成果の公表方法の検討・確立（出版会等）</p> <p>○大型プロジェクト研究補助金への申請</p>
リハビリテーション科学研究科			<p>○地域共生社会に向けた研究と実践、拠点形成</p> <p>○子どもの貧困と政策・実践課題の拠点形成</p> <p>○「2025 年問題」への政策・実践課題の拠点形成</p> <p>○在住外国人の社会福祉に関する研究と実践</p> <p>○卒業生・専門職者・当事者団体との公開講座</p>

分類	短期目標 (2021～2023 年度)	短期目標：客観指標 (2021～2023 年度)	短期計画 (2021～2023 年度)
教育	<p>①学生の自律学修を促し創造性を養うため、アクティブラーニングによる授業を推進し、ICTの活用や地域における実践活動による教育方法を開発する。</p> <p>②学位授与方針に適した保健医療福祉の専門職を輩出するため、適正な成績評価を実施する。</p> <p>③国際社会に貢献できる人材を育成するため、学生及び教員の英語教育と国際交流・活動を推進する。</p>	<p>○地域実践アクティブラーニング、国際支援アクティブラーニングの実践活動と参加学生の推移</p> <p>○アクティブラーニングの科目割合：開講科目の50%以上</p> <p>○ICT活用科目：開講科目50%以上</p> <p>○レポート評価・演習・実習科目におけるルーブリック活用：全科目実施</p> <p>○ODP 到達評価、社会人基礎力評価の実施（学生－教員－教学改革）</p> <p>○学生の国際研修、国際支援アクティブラーニングの参加推移</p> <p>○ティーチング・ポートフォリオの全科目実施</p> <p>○外国語のみの授業の展開：各学部3科目（共通科目含む）</p>	<p>○アセスメントポリシーに基づく教育成果の可視化による教育と人材養成の質保証（学問分野別の質保証）の体制の構築</p> <p>○ICT活用やeポートフォリオ等の学修ツールの活用定着</p> <p>○地域実践アクティブラーニング、国際支援アクティブラーニングの発展的展開</p> <p>○国際保健医療福祉コース（副専攻）開設（2022年4月）</p> <p>○共通科目（数理・データサイエンス・AI教育含む）の見直し（2022年4月）</p> <p>○多様なメディアを高度に利用して行う授業への対応（2022年4月）</p>
研究	<p>①研究活動を発展させ、その成果を国内外に還元して、保健医療福祉・教育の学術の発展に寄与する。</p>	<p>○科研申請率：80%</p> <p>○科研採択率：30%</p> <p>○年間1教員1学会発表（公演等含）・1論文発表（書籍等含）</p>	<p>○科研費等学外研究費獲得の推進</p> <p>○産学連携事業・研究の推進のための学内の基盤整備</p>
学生支援	<p>①隣人愛の精神のもと愛と活気あるグローバルキャンパスを作る。</p> <p>②学修につまずきのある学生に対する全学的な支援体制を整備する。</p> <p>③健やかで豊かな学生生活を実現するため、学生の心身の健康や生活及び経済的な支援を充実する。</p>	<p>○事件・事故の発生件数：前年度以下</p>	<p>○学生の支援体制（健康管理・学修支援・経済支援）の充実</p> <p>○建学の精神と、自校愛の醸成に向けた学生との協働</p> <p>○学部を超えた学生交流の機会創出</p> <p>○国際人育成のためのグローバルキャンパス</p>
FD	<p>①学生支援並びに教育に向けた教職員の資質向上を目指し、各種研修会の充実と教職員・学生の連携を促す。</p>	<p>○学部FD研修会、全学FD/SF研修会：参加率100%</p> <p>○授業評価の実施：100%</p> <p>○ピアレビューの実施：100%</p> <p>○学生評価指標：</p>	<p>○FD委員会を主体とした、教職－学生共同による全学の学生支援・教育改善に向けた支援体制の構築</p> <p>○授業評価、およびピアレビューによる着実な授業改善</p> <p>○学生FDスタッフの全学的な組織化、並びに教育改善活動への参画体制構築</p>
ICT	<p>①社会の技術革新に適う人材育成に向けた、ICT等の教育ツールの活用と教育・学生支援を充実する。</p>	<p>○PCやタブレット等の活用状況：</p>	<p>○オンデマンド授業の展開</p>
就職・キャリア	<p>①学生の希望と適正にかなうキャリア教育と進路支援・指導の充実を図る。</p> <p>②卒業生の母校への絆を育成するため、大学と卒業生及び同窓会の連携の強化を図る。</p>	<p>○就職率100%</p> <p>○卒業生満足度「進路について：希望する進路先に就職、または進学することができた」：70%以上</p> <p>○同窓会入会率：100%</p>	<p>○地域包括ケア時代の変化に対応した就職支援および病院施設との連携強化</p> <p>○卒業生同士のネットワーク構築支援を通じ、大学・卒業生・同窓会の絆を育成</p>

分類	短期目標 (2021～2023 年度)	短期目標：客観指標 (2021～2023 年度)	短期計画 (2021～2023 年度)
地域連携	①地域の保健医療福祉の発展と地域振興に資する大学として、自治体や他大学等と連携共働の事業を推進する。	○浜松市との保健医療福祉の共働事業 ○プレスリリース等による広報活動	○保健医療福祉・教育分野で浜松市との強固な協働関係の構築 ○地域連携プロジェクトの発展による教育・研究・実践の地域モデルの構築
国際化	①グローバル化を発展させるため、本学の資源を活用して、アジアを中心とした国及び地域・機関等と共同事業や人材育成を発展させる。 ②留学生の受け入れのための基盤整備を充実させる。(経済支援、学内組織、教育体制、教員の英語力強化の取り組み)	○「私立大学等改革総合支援事業」(タイプ4「グローバル化」)のポイント ○留学生受け入れ：5名 ○留学生基金の推移 ○国際支援アクティブラーニングの事業と参加学生の定着：20%以上	○グローバル化の発展に向けた教育環境の整備 ○優秀な外国人留学生受け入れ、留学生基金制度の運用と、協力施設との共同事業
学生募集	①入学受け入れ方針(AP)に適した入学目標者数を確保する。 ②こども園から大学・大学院、卒業生循環型の募集活動を推進する。 ③保健医療福祉の総合大学としての価値とブランド力の向上を図るため、情報と企画に基づく戦略的な広報活動を展開する。 ④入学後の成績等を追跡調査し、選抜方法の妥当性を検証する。	○定員充足率：100% ○メディア掲載数：20件/年間 ○併設高校進学者割合：20%	◇定員確保 ○募集広報活動の見直しと取り組み ○こども園から大学・大学院、卒業生循環型の学生募集体制の確立 ○高大連携校との強固な関係構築 ◇入試改革 ○入試制度改革の評価・見直し、2025年度新課程入試への対応 ○アドミッション・オフィサーの役割と業務の明確化、評価業務への参画
基盤整備	(1) 組織運営 ①社会の情勢変化や保健医療福祉分野へのニーズに対応し、また大学ブランド力を発展させるため、学部・研究科の体制を有効・効果的かつ柔軟に編成・整備する。 ②大学の継続的発展のため、卒業生の中から本学の将来を担う優秀な人材を育成して、本学の歴史と教育理念を継承する。 ③教育研究並びに諸活動の質の向上を促すため、公正かつ適切な教員評価を実施する。 ④次世代を担う幹部教職員を育成し、活力あるイノベティブな教職員組織を形成する。 ⑤業務の効率化・合理化とコスト管理を行い、資源の有効活用を促す。	○人件費比率 65%未満 ○教員一人あたりの学生配置数：13人未満 ○教員年齢分布：40未満 1/6、41～50歳 2/6、51～60歳 2/6、61歳以上 1/6 ○卒業生・大学院修了生の教員配置：1/3 ○地域指定校制特別奨学生(卒業生)からの大学院進学者(割合)と本学教員採用： ○幹部教職員の育成	○人件費比率 65%未満 ○教員配置、非常勤講師、補助教員の適正配置に向けたチェック体制の整備 ○教員配置、非常勤講師、補助教員の適正配置 ○地域指定校制特別奨学生(卒業生)の教員採用 ○教員評価制度の評価と改善 ◇教職員の働き方改革 ○組織運営・資源(人・金・物・時間)活用の見直し ○働き方改革関連法施行に伴う教員の働き方改革の実質運用

分類	短期目標 (2021～2023 年度)	短期目標：客観指標 (2021～2023 年度)	短期計画 (2021～2023 年度)
基盤整備	(2) 教育研究環境の整備 ①快適な学習環境の実現と主体的な学修の推進および学修力の向上を促すため、教育環境の点検と整備・充実を図る。 ②教育研究環境の充実を図るため、各種補助金を獲得及び教育発展基金を開設する。	○教育改革推進経費（学長裁量経費）の見直し（教育研究経費の5%以上） ○「私立大学等改革総合支援事業」(タイプ1「教育の質的転換」)の採択 ○「私立大学等改革総合支援事業」(タイプ3「プラットフォーム形成」)の採択 ○他大学との教養教育共同化及び単位互換 ○教育発展基金：100万/年間	○教養教育（共通科目）の見直し（教養教育共同化や単位互換制度） ○教育発展基金の開設（制度・受け入れ窓口の開設） ○ICT環境の高度化、情報システムの統合・集約（認証方法の統一、情報の一元化） ○「私立大学等改革総合支援事業」(タイプ1「教育の質的転換」)の採択に向けた取り組みの継続 ○「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」(プラットフォーム形成推進委員会)の継続的な参画
	(3) 内部質保証及び情報公開 ①内部質保証システムを有効に機能させ、自律的に自己点検・評価と改善を図るとともに、適切に情報公開する。	○IR有効活用等による教学マネジメントの体制構築と適切な運用(PDCAサイクル) ○認証評価受審適合判定(2023)	○内部質保証システムと自律的な自己点検・評価体制の確立 ○認証評価受審の準備(2022) ○教学IR委員会と自己点検・評価運営委員会との連携による教育改善
	(4) 安全管理 ①安心・安全な教育研究環境を提供するため、学内・職場の安全・衛生管理の推進、及び情報セキュリティの基本方針に沿った情報管理に努める。	○コンプライアンス案件：0 ○ハラスメント案件：0 ○教職員のストレスマネジメント：偏差値50	○リスクマネジメントの強化 ○ハラスメントのない大学環境を創出する。
	(5) その他 ①学園の将来構想（グローバルスクール：国際教育学部、メディカルスクールの設置）に向けた大学改革を構想する。	○大学の将来構想の設計	○大学の将来構想の設計（国際教育学部の設置に向けた検討） ○2021年度内に中長期事業計画の見直し

＜短期計画＞ 進捗評価

進捗評価〔◎：実施済み、完了している。 ○：実施中、今後継続する。 △：未実施〕

最重点課題	分類	短期計画（2019～2020年度）	進捗評価
(6) 大学の将来構想（国際教育学部設置）の現実に向けた準備 (5) 大学の将来構想（国際教育学部設置）の現実に向けた準備 (4) 地域連携とグローバル教育の推進・全学国際コースの開設 (3) 定員確保のための学生募集活動の工夫と充実 (2) 内部質保証システムの運用と教育改善 (1) 建学の精神を基盤とした教育及び人材育成	看護学部	○学部・専攻科－大学院（CNS含む）－特定行為研修が有機的に機能する組織・教育体制の整備（領域再編・教員配置・教育課程等の検討） ○パソコン必携化に向けて教員の授業へのパソコン・タブレット等の活用促進 ○教員充足と人材育成 ○シミュレーション教育を中心とした学内教育環境の整備	○ ◎ ○ ○
	社会福祉学部	○介護福祉学科・社会福祉学科統合の着実な教育実施人材育成の発展 ○児童福祉領域の強化 ○小学校教職課程の着実な教育実施と発展	◎ ◎ ◎
	リハビリテーション学部	○国際リハビリテーションコースの着実な展開 ○定員充足のための着実な広報活動 ○自治体、企業、病院・施設、他大学等との連携体制（プラットフォーム）の形成	◎ ○ ○
	看護学研究科	○学部・学科・研究科の教育特徴の創出 ○学内循環型の人材育成の推進 ○地域の専門職、就職先等の声を反映した教育機関・病院施設等との連携とキャリア教育の充実 ○卒業生及び同窓会との強固な相互支援体制の構築	○ ○ ○ ○
	リハビリテーション科学研究科	○聖隷国際研究コンファレンス（SIRC）の開催・発展 ○他大学大学院との共同研究・単位互換制度の立案（連携大学院） ○リハビリテーション教育学コースの開設と研究科の教育特徴の創出	◎ ◎ ◎
	社会福祉研究科	○地域共生社会の形成に向けた研究と実践 ○在住外国人の社会福祉に関する研究と実践 ○卒業生・専門職者・当事者団体との公開講座 ○高度専門職育成のための研究課程の変更	○ ○ ○ ◎
	教育	○初年次教育の充実：新入生の意識改革（プレイスメントテスト、DPとDP到達評価、社会人基礎力、カリキュラムマップ、シラバス） ○ICTを活用した教育の促進、主体的学修の推進やeポートフォリオ等の学修ツールの活用 ○地域実践アクティブラーニング、国際実践アクティブラーニングの展開による多職種連携協働、アクティブラーニングの推進 ○アセスメントポリシーに基づく教育成果の可視化の実施・運用（WebClass活用）と公表、ティーチング・ポートフォリオの検討	◎ ◎ ◎ ◎
	研究	○科研費等学外研究費獲得の推進 ○共同研究学長奨励研究枠の見直し ○産学連携事業・研究の推進のための学内の基盤整備	○ ◎ ○
	学生支援	○建学の精神と、自校愛の醸成に向けた学生との協働 ○学部を超えた学生交流の機会創出 ○国際人育成のためのグローバルキャンパス ○学習支援室の開設と運用 ○修学支援新制度（給付型奨学金、授業料減免）の運用	○ ○ ○ ◎ ◎

最重点課題	分類	短期計画（2019～2020年度）	進捗評価
(6) 実効性のある教員の働き方改革の推進 (5) 大学の将来構想（国際教育学部設置）の実現に向けた準備 (4) 地域連携とグローバル教育の推進・全学国際コースの開講 (3) 定員確保のための学生募集活動の工夫と充実 (2) 内部質保証システムの運用と教育及び人材育成 (1) 建学の精神を基盤とした教育及び人材育成	FD	○教職と学生共同による、全学の学生支援・教育改善に向けた教務・学生・FDが一体となった活動の推進 ○授業評価、およびピアレビューによる着実な授業改善 ○学生FD委員の育成と教育改善への参画	◎ ○ ◎
	ICT	○ICT活用やeポートフォリオ等の学修ツールの活用促進 ○学生のパソコン必携化に伴うパソコン・タブレットの活用支援体制の構築	◎ ◎
	就職・キャリア支援	○卒業生の生涯学習とスキルアップを支援するリカレント教育体制の構築 ○卒業生及び同窓会との強固な相互支援体制の構築	◎ ◎
	地域連携	○浜松市との連携協定に基づく連携協働の推進（政策提言や「SCUオープンカレッジ」含む） ○浜松市との連携事業「大学生による講座」の展開と広報	◎ ○
	国際化	○国際支援・援助事業（国際支援アクティブラーニング）の展開 ○優秀な外国人留学生受け入れ、留学生基金制度の運用と、協力施設との共同事業 ○学生、教職員の語学研修（サークル等）	◎ ○ ◎
	学生募集	◇定員確保 ○募集広報活動の見直しと取り組み ○こども園から大学・大学院、卒業生循環型の募集活動の検討 ○高大連携校との協働プロジェクト推進及び連携協定の締結 ◇入試改革 ○2021年度入試に向けた、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価する新入試制度の導入 ○アドミッション・オフィサーの役割と業務の明確化、評価業務への参画	○ ○ ○ ◎ ○
	基盤整備	(1) 組織運営に関する事項 ○人件費比率65%未満を目標とした取り組み ○教員評価制度の評価と改善 ○教員配置、非常勤講師、補助教員の適正配置に向けたチェック体制の整備 ◇教職員の働き方改革 ○組織運営・資源（人・金・物・時間）活用の見直し ○働き方改革関連法施行に伴う教員の働き方改革の実質運用	○ ○ ○ ○ ○
		(2) 教育環境に関する事項 ○修学支援新制度（給付型奨学金、授業料減免）の運用 ○スクールバスの検討と適正運用 ○「私立大学等改革総合支援事業」（タイプ1「教育の質的転換」）の採択 ○「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」（プラットフォーム形成推進委員会） ○教養教育（共通科目）の見直し（教養教育共同化や単位互換制度）の検討 ○PC室の活用と全学教室活用の再整備	◎ ◎ ○ ○ ○ ◎
		(3) 自己点検評価及び情報公開 ○内部質保証システムの再構築 ○学部・大学院DPルーブリックの策定 ○IR部門の機能強化、及びデータの有効活用	◎ ◎ ○
	基盤整備	(4) 安全管理 ○情報セキュリティ及び各種の危機管理とリスクマネジメント	◎
○大学の将来構想の検討（学位プログラム：国際健康科学（プレメディカルプログラム）、国際教育（グローバル教育プログラム））		○	

中長期財務計画 学園全体【2019年度決算-2025年度】

◆事業活動収支計算書

(単位:千円)

主な事業計画(要因)	小学校校舎建築 小学校教員採用 消費税10%(10月)	小学校開校 (1.3.5学年)	小学校 全学年開校 4号館耐震工事	(現小5)中学進学	校舎建築	(現小3)中学進学	(現小5)高校進学
項目	2019年度 決算	2020年度 決算	2021年度 中長期	2022年度 中長期	2023年度 中長期	2024年度 中長期	2025年度 中長期
学生生徒等納付金	2,613,134	2,713,748	2,806,306	2,926,957	2,995,462	3,119,765	3,223,516
事業活動収入 ①	3,656,600	3,964,352	3,867,459	4,021,833	4,101,039	4,262,520	4,393,730
人件費 ④	2,338,083	2,372,133	2,551,530	2,658,677	2,700,642	2,763,127	2,882,385
教育研究経費	750,260	840,864	952,185	957,792	968,843	1,116,359	1,086,836
管理経費	324,037	309,059	316,868	324,203	327,629	335,352	336,100
その他支出(借入金利息等)	51,419	48,035	22,640	20,529	26,210	※ 87,643	24,099
事業活動支出②	3,463,799	3,570,091	3,843,223	3,961,201	4,023,325	4,302,481	4,329,420
事業活動収支差額③(①-②)	192,801	394,261	24,236	60,632	77,714	△ 39,961	64,310
事業活動収支差額比率③/① (事業活動収支差額/事業活動収入)	5.3%	9.9%	0.6%	1.5%	1.9%	△ 0.9%	1.5%
人件費比率④/① (事業活動収支差額/事業活動収入)	63.9%	59.8%	66.0%	66.1%	65.9%	64.8%	65.6%

※ 旧5号館解体経費、処分差額

◆資金収支計算書

資金収支 収入の部 ⑤	3,611,086	3,986,354	3,915,593	4,039,597	5,333,047	4,269,581	4,417,412
借入金返済、返済利息	179,345	176,963	176,160	159,129	164,810	164,709	205,749
施設設備費(固定資産)	251,180	185,777	107,057	109,129	155,901	89,442	71,996
新規事業(土地購入造成、校舎体育館建築等)	1,146,579	25,000	72,000	283,000	2,400,000	90,000	300,000
資金収支 支出の部 ⑥	4,736,168	3,629,117	3,945,129	4,196,762	6,429,041	4,195,137	4,532,806
資金収支差額 ⑦ (⑤-⑥)	△ 1,125,082	357,237	△ 29,536	△ 157,164	△ 1,095,994	74,443	△ 115,394
次年度繰越支払資金⑧	4,132,034	4,489,271	4,459,735	4,302,571	3,206,577	3,281,021	3,165,627

中長期財務計画においては、教育研究保育環境の充実・整備を図りつつ、中長期経営計画実現に向け財源を継続して確保する必要があります。

財務計画は主な要点をベースとし、財務構造を人件費 60～65%、教育研究経費 20～25%、管理経費 5～7%、収支差額 3～7%を目安に策定しております。また、施設設備においても、大学1号館は建築 25 年以上、2・3 号館と中高校舎は 15 年以上となり、計画的に修繕を行う計画をしており、エアコン取替工事や校舎内蛍光灯のLED化を計画し、毎年実行しております。

2020 年度に小学校が開校しました。学年進行に伴い、収支は改善していく見込です。事業の継続ならびに新規構想の推進には財政基盤の強化が必要であり、自主財源の確保は、入学入園者見込数を確実に確保していくこと、支出については、その 60%以上を占める人件費政策を行うことが必須となります。

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

2021 年度は開設から 6 年目を迎える節目として、1978 年のヘルパー学園の教育を学び、初心に帰りその理念を発展的に継承していくことを計画します。先人たちが目指した教育をさらに発展できるように、教員自身が自覚的に教育や学生支援に取り組みます。

留学生 7 名が入学しますので、外国人も日本人も違和感なく、同じ空間で学びができるように、教育環境を整備し日々の学生支援を強化します。同様に学力の低い学生や、勉強の仕方がわからない学生等、多種多様な困難性を抱えた学生も、だれ一人疎外感を感じることはないような温かい、人間性溢れた学級運営を行います。

2021年度は以下の4項目に重点を置き学校運営を推進します。

- 1 入学者を確保するための学生募集活動
- 2 主体的な学びの力を高め、自分で判断し行動できる、人間力と実践力を涵養する教育の徹底
 - (1) 主体的に学修できるような授業展開を図る
 - (2) 個別化に特化した学習支援の充実
- 3 学生支援の充実
- 4 外国人留学生の受け入れ後の対応

◆ 学生募集の推移

		入学定員	2021年度入学		2020年度入学		2019年度入学	
			志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
大学院	看護学研究科	15	11	11	11	10	11	9
	博士前期課程	10	7	7	6	5	7	6
	博士後期課程	5	4	4	5	5	4	3
	社会福祉学研究科	13	5	3	10	5	4	4
	博士前期課程	10	3	2	3	2	2	2
	博士後期課程	3	2	1	7	3	2	2
	リハビリテーション科学研究科	20	13	13	17	15	14	13
	博士前期課程	15	10	10	12	10	12	11
	博士後期課程	5	3	3	5	5	2	2
大学院合計		48	29	27	38	30	29	26
大学	看護学部	150	711	158	696	158	742	158
	看護学科	150	711	158	696	158	742	158
	助産学専攻科	15	37	17	40	17	31	17
	社会福祉学部	120	208	85	257	101	276	93
	社会福祉学科	65	111	48	130	52	121	44
	編入学	15	5	5	5	5	0	0
	介護福祉学科	-	-	-	-	-	48	16
	編入学	-	-	-	-	-	3	3
	こども教育福祉学科	40	92	32	122	44	104	30
	リハビリテーション学部	95	484	110	610	108	549	125
	理学療法学科	40	261	35	321	46	267	56
	作業療法学科	30	121	28	183	34	159	38
	言語聴覚学科	25	102	29	106	28	123	31
大学合計		380	1,398	370	1,603	384	1,598	393
総合計		428	1,427	397	1,641	414	1,627	419

	入学定員	2021年度入学		2020年度入学		2019年度入学	
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
介護福祉専門学校	40	29	28	20	19	29	27

◆ 国家試験合格率の推移

◆ 看護師・保健師・助産師国家試験の合格率（新卒者）

資格名	所属	2020年度		2019年度		2018年度	
		全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
看護師	大学	95.4%	98.7%	94.7%	97.4%	94.7%	98.7%
保健師	大学	97.4%	96.7%	96.3%	96.6%	88.1%	86.7%
助産師	専攻科	99.7%	100.0%	99.5%	100.0%	99.4%	100.0%

◆ 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の合格率（新卒者）

資格名	2020年度		2019年度		2018年度	
	全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
社会福祉士	50.7%	54.0%	56.0%	49.2%	53.7%	55.7%
精神保健福祉士	71.4%	85.7%	74.0%	84.2%	77.0%	100.0%

◆ 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士国家試験の合格率（新卒者）

資格名	2020年度		2019年度		2018年度	
	全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
理学療法士	86.4%	100.0%	93.2%	100.0%	92.8%	100.0%
作業療法士	88.8%	90.6%	94.2%	90.6%	80.0%	88.9%
言語聴覚士	82.0%	88.5%	79.4%	78.6%	82.6%	61.3%

◆ 介護福祉士国家試験の合格率（新卒者）

資格名	2020年度			2019年度			2018年度		
	全国平均	社会福祉学部 介護福祉学科	介護福祉専門学校	全国平均	社会福祉学部 介護福祉学科	介護福祉専門学校	全国平均	社会福祉学部 介護福祉学科	介護福祉専門学校
介護福祉士	72.9%	100.0%	95.8%	80.0%	100.0%	88.2%	83.7%	91.7%	91.3%

◆ 卒業生・修了生の進路状況（大学）

2020年度 卒業生・修了生の進路状況

看護学部卒業生の内訳

（単位：人）

卒業生数	152	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数（*1）	140	看護師	135	112	23
		保健師	5	5	0
進学者数	10				
その他（*2）	2				

- (*1) 聖隷三方原病院…28名、聖隷浜松病院…52名、聖隷横浜病院…10名、
 聖隷佐倉市民病院…2名、浜松市リハビリテーション病院…4名、
 袋井市立聖隷袋井市民病院…2名、聖隷淡路病院…1名、
 訪問看護ステーション住吉…1名、聖隷保健事業部…3名
 合計103名（就職者の73.6%）
 (*2) 「その他」は就職しない者2名です。

助産学専攻科修了生の内訳

修了生数	17	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数(*1)	17	助産師	17	10	7

(*1) 聖隷三方原病院…2名、聖隷浜松病院…7名 合計9名（就職者の52.9%）

社会福祉学部社会福祉学科、介護福祉学科卒業生の内訳

卒業生数	44 (社30/介14)	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数(*1)	42 (社29/介13)	福祉施設	17/13	17/8	0/5
		医療機関	7/0	6/0	1/0
		公務員	2/0	2/0	0/0
		その他	3/0	3/0	0/0
その他(*2)	2 (社1/介1)				

(*1) 聖隷福祉事業団…8名（就職者の19.0%）

(*2) 「その他」は就職しない者1名、就職活動中1名です。

社会福祉学部こども教育福祉学科卒業生の内訳

卒業生数	37	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数(*1)	37	公立幼稚園・保育園	7	6	1
		私立幼稚園	1	1	0
		こども園	7	7	0
		民間保育園	11	11	0
		社会福祉施設	9	8	1
		公務員	1	1	0
		一般企業	1	1	0

(*1) 聖隷福祉事業団…7名（就職者の18.9%）

リハビリテーション学部卒業生の内訳

卒業生数	99	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数(*1)	85	理学療法士	37	24	13
		作業療法士	29	24	5
		言語聴覚士	19	11	8
進学者数(*2)	3				
その他(*3)	11				

(*1) 聖隷福祉事業団…9名、十字の園…1名 合計10名（就職者の11.8%）

(*2) 進学者3名のうち2名は就職し、本学大学院に進学しています。

(*3) 「その他」は就職活動中2名、就職しない者9名です。

◆ 就職支援（大学）

2020年度 主な就職支援プログラム			
4月	春semester進路ガイダンス 【看】看護師国試対策講座	10月	公務員試験対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【PT・OT】リハビリテーション国試対策講座 ※eラーニング（国試前日まで）
5月	【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【介】介護福祉士国試対策講座 【PT・OT・ST】進路ガイダンス	11月	【看】看護師・保健師共通国試対策講座 【看】4年次生による就職活動報告会 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】就職先研究（聖隷福祉事業団） 【社・介・こ】就職先研究（天竜厚生会） 【社・介・こ】卒業生による福祉の仕事報告会 【こ】卒業生と在学生との懇談会 【介】介護福祉士国試対策講座
6月	【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】施設説明会（4年次対象）	12月	【看】看護師国試対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】SPI対策模擬テスト 【介】介護福祉士国試対策講座 【こ】就職先研究（聖隷福祉事業団） 【社・介・こ】4年次生による就職活動報告会
7月	【看】進路ガイダンス 【看】看護師国試対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【PT・OT・ST】進路ガイダンス	1月	【看】看護師国試対策講座 【看】保健師国試対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【PT・OT】4年次生による就職活動報告会 【PT・OT・ST】就職先研究（聖隷福祉事業団） 【PT・OT・ST】就職マナー・面接対策講座 【PT・OT・ST】スーツ着こなし講座
8月	公務員試験対策講座 【看】看護師国試対策講座 【看】保健師国試対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座	2月	卒業時ガイダンス 【看】進路ガイダンス 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】スーツ着こなし講座 【社・介・こ】SPI対策模擬テスト
9月	秋semester進路ガイダンス 公務員試験対策講座 【看】保健師ガイダンス	3月	論作文対策講座、筆記試験対策講座 【看】卒業生と在学生との懇談会 【看】病院・施設説明会（聖隷関係） 【看】病院説明会（静岡県・愛知県東部） 【看】就職マナー・面接対策講座 【看】スーツ着こなし講座 【社・介・こ】大規模法人就職説明会 【社・介・こ】施設説明会（3年次対象） 【ST】4年次生による就職活動・国試報告会

※随時：進路相談、履歴書添削、模擬面接

※【看】：看護学部対象 【助】：助産学専攻科対象

【社】：社会福祉学科対象 【介】：介護福祉学科対象 【こ】：こども教育福祉学科対象

【PT】：理学療法学科対象 【OT】：作業療法学科対象 【ST】：言語聴覚学科対象

◆ 卒業生の進路状況（専門学校）

2020年度 卒業生の進路状況

（単位：人）

卒業生数	24	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数 (*1)	18	介護福祉士	18	18	0
進学者数	4				
その他 (*2)	2				

(*1) 聖隷福祉事業団…6名（就職者の33.3%）

(*2) 「その他」は就職しない者2名です。

◆ 就職支援（専門学校）

2020年度 主な就職支援プログラム			
4月	進路ガイダンス	10月	2年次生による就職活動報告会
5月	介護福祉士国試対策講座	11月	介護福祉士国試対策講座
6月		12月	履歴書の書き方・面接の受け方講座 2年次生による就職活動報告会 卒業生と在学生との懇談会 介護福祉士国試対策講座
7月	社会人になるための基礎講座 就活マナー講座 スーツ着こなし講座 メイクアップ講座	1月	
8月		2月	就職内定後の心構え・社会人としての心構え講座 卒業時ガイダンス
9月	進路ガイダンス	3月	聖隷福祉事業団採用試験説明会 進路ガイダンス

※随時：進路相談、履歴書添削、模擬面接

◆ 2020年度大学学部別・専門学校奨学金受給状況

○看護学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷グループ奨学会	日本学生支援機構				K.M.奨学金	M.H.奨学金	難波千鳥奨学金	廣田育英会	浜松市奨学金	静岡県看護職員就学資金	静岡県看護協会修学貸与金	合計	
				合計	一種	二種	給付								貸与人数	受給割合
1年次生	0		29	69	27	28	14	0		0	2	2	1	103	65.2%	
2年次生	0	0	38	66	32	19	15	0		0	0	0	0	105	66.5%	
3年次生	1	1	42	77	30	33	14	0	2	0	0	1	0	125	73.5%	
4年次生	1	0	80	51	17	25	9	0	0	1	0	0	0	134	87.0%	
合計	2	1	189	263	106	105	52	0	2	1	0	3	2	467	73.0%	

○助産学専攻科

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	聖隷グループ奨学会	日本学生支援機構				静岡県看護職特別	静岡県看護協会	合計	
			合計	一種	二種	貸与人数			受給割合	
1年次生	0	6	2	1	1	0	0	10	58.8%	

○社会福祉学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷グループ奨学会	日本学生支援機構				静岡県介護福祉士	静岡県保育士	K.M.奨学金	難波千鳥奨学金	廣田育英会	ニッセイ聖隷健康福祉財団	合計	
				合計	一種	二種	給付							貸与人数	受給割合
1年次生	1		0	44	15	22	7	1	6		0	0	52	54.2%	
2年次生	0	0	0	28	12	10	6	7	3	0	0	0	38	42.2%	
3年次生	1	0	2	33	14	15	4	0	0	2	1	0	39	60.0%	
4年次生	0	0	0	23	8	9	6	1	1	0	0	0	25	29.8%	
合計	2	0	2	128	49	56	23	9	10	2	1	0	154	46.0%	

○リハビリテーション学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷グループ奨学会	日本学生支援機構				浜松市奨学金	廣田育英会	ニッセイ聖隷健康福祉財団	合計	
				合計	一種	二種	給付				貸与人数	受給割合
1年次生	0		1	59	25	24	10	1	0	1	62	57.4%
2年次生	1	0	0	69	29	26	14	1	0	1	72	58.1%
3年次生	0	1	2	71	34	21	16	0	0	0	74	67.9%
4年次生	0	0	0	57	27	25	5	1	1	0	59	56.7%
合計	1	1	3	256	115	96	45	3	1	2	267	60.0%

○大学院博士前期課程

学年	日本学生支援機構			静岡県看護職員修学資金	看護学研究科生支援奨学金	合計	
	合計	一種	二種			貸与人数	受給割合
1年次生	1	1	0	0	-	1	5.9%
2年次生	3	1	2	2	5	10	31.3%
合計	4	2	2	2	5	11	22.4%

○大学院博士後期課程

学年	日本学生支援機構			看護学研究科生支援奨学金	合計	
	合計	一種	二種		貸与人数	受給割合
1年次生	0	0	0	-	0	-
2年次生	0	0	0	1	1	14.3%
3年次生	0	0	0	1	1	3.2%
合計	0	0	0	2	2	3.9%

○介護福祉専門学校

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	日本学生支援機構				静岡県介護福祉士修学資金	聖隷福祉事業団奨学金	クリスチャー介護福祉士奨学金	天竜厚生会介護福祉士奨学金	合計	
		合計	一種	二種	給付					貸与人数	受給割合
1年次生	0	1	0	0	1	6	6	2	0	15	78.9%
2年次生	0	1	0	1	0	6	5	3	0	15	62.5%
合計	0	2	0	1	1	12	11	5	0	30	69.8%

※受給割合は、学生数に対する受給者の延べ人数の割合を示す

※受給割合は、2021年3月時点データ

※聖隷病院就職内定者の奨学金受給者を含む

◆グローバル教育推進

2020年度の本学の交流協定校は、陸軍軍医大学（中国・旧第三軍医大学）、ナンヤン理工学院（シンガポール）、サミュエルメリット大学（アメリカ）、シンガポール工科大学、イーデス・コーワン大学（オーストラリア）、シアトルパシフィック大学（アメリカ）、モンタナ大学（アメリカ）、ハワイ大学マノア校（アメリカ）、中山大学（中国）の9校です。

2020年度は、学生主体の国際交流として下記の派遣・受入れプログラムを実施しました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、渡航を伴うプログラムは全面的に中止とし、一部のプログラムをオンラインで実施しました。

2021年2月18日・19日には本学大学院主催の聖隷国際研究コンファレンス(SIRC)を開催し、海外・国内からオンラインを含め約100名の参加がありました。

また、中山大学との学術交流の一環としてオンライン合同セミナーを全3回開催し、本学教員・大学院生・学部生を含め延べ255名が受講しました。

【学生派遣】

	プログラム	期間	対象	受入機関・内容	参加学生
国際専門研修	オンライン研修 (アメリカ看護研修の代替)	2日間	看護学部 1~4年次生	サミュエルメリット大学 講義および学生とのディスカッション	看護1年2名 看護2年6名 看護3年5名 看護4年2名 計15名
	オンライン交流 (シンガポールリハビリテーション研修の代替)	1日	リハビリテーション学部 理学療法学科・ 作業療法学科・ 言語聴覚学科 1~2年次生	シンガポール工科大学 学生とのディスカッション	PT1年4名 PT2年4名 OT1年2名 OT2年2名 ST1年2名 計14名
国際実習	オンライン講座 (国際理学療法実習の代替)	1日	リハビリテーション学部 理学療法学科 2~4年次生	中山大学 中山大学附属第一病院の講義	PT2年4名 PT4年4名 計8名
	オンライン交流 (国際看護実習の代替)	2日間	看護学部 4年次生	ナンヤン理工学院 講義、看護師による病院説明、および学生交流	看護4年2名 計2名
	オンライン交流 (国際福祉実習の代替)	2日間	社会福祉学部 社会福祉学科・ こども教育福祉学科 3~4年次生	インド聖隷希望の家 施設見学および交流	社福3年1名 社福4年1名 こども3年1名 計3名

【学生受入れ】

プログラム	期間	対象	研修内容等	参加学生
オンライン交流会	1日	シンガポール工科大学 ヘルス&ソーシャルサイエンス学部 理学療法学科・作業療法学科生	保健医療、リハビリテーション、学生生活について本学学生とのディスカッション	計17名
オンライン研修	2日間	サミュエルメリット大学 看護学部生	本学および聖隷三方原病院の講義 ナンヤン理工学院と共通プログラムあり	計13名
オンライン研修	2日間	ナンヤン理工学院 ヘルス&ソーシャルサイエンス学部 看護学科生	本学および聖隷三方原病院の講義 サミュエルメリット大学と共通プログラムあり	計14名
オンライン研修	2日間	ナンヤン理工学院 ヘルス&ソーシャルサイエンス学部 社会福祉学科生	本学の講義および近隣福祉施設の紹介（KuRuMiX、きじの里）	計9名

聖隷クリストファー中・高等学校

1. 2020年度の重点目標の振り返り

【1】重点目標：生徒募集において入学定員を確保する。

○高等学校

- ・入学者285名を確保する目標を掲げ、方策としては、就学支援金制度拡充についてさらなる周知をすすめ、単願者増加につながる特待制度の見直しを実施しました。
- ・就学支援金制度については、視覚的工夫や懇切な説明によって、志願者の理解を深めることが出来ました。
- ・コロナ禍において、慎重な対策を講じながら、学校見学会や入試説明会を実施し、多くの参加者を得ることができ、受験生や保護者の要望に応えることが出来ました。
- ・コロナ禍においても、できる範囲において充実した部活動が行われ、成果を上げることができ、本校の魅力をアピールすることが出来ました。
- ・それらの結果、21年度入試においては、今までにない多くの入学者を得ることが出来ました。この成果を一時的な現象として捉えることなく分析し、一層の実力向上を図り、真に選ばれる高等学校へと成長する転機とする決意です。

○中学校

- ・入学者が大幅に減少した原因について分析し、以下のような対応を確認しました。
- ・「義務教育においては、転学者や退学者を絶対に出さない」という意識で、各教員が隣人愛の原点に帰って、6年間の指導しきる決意で臨みました。
- ・生徒支援委員会を中心に、不登校や保健室登校の生徒の情報を共有化し、学習支援員を配置して個別支援を強化して、教室に戻していく方策を進めました。
- ・生徒指導の記録をファイルして教員内で共有し、管理者にも回付して問題把握につとめることができました。
- ・人間関係作りのピアサポート研修を教員・生徒がともに受けました。
- ・入試広報活動においては、チラシの配布などに従来になかった工夫をしました。また説明会においても、在校生と触れ合う体験を増やし、保護者に分かりやすい講話を導入しました。
- ・これらの取り組みの結果、2020年度には転・退学者を一人も出さず、入学者数を47名にまで回復することが出来ました。

【2】重点目標：学力の向上

○高等学校

- ・1学期のコロナ禍における対応について
一部休業や交代での登校等、かつてない形でスタートした年度でした。その中で、家庭学習に対応した授業動画の作成とインターネット配信が積極的に推進されました。ノウハウを持った教員の先進的な取り組みが教員間で共有され、多様な動画が作成・配信されました。また、webを通してのショートホームルームなども行われ、登校できずに不安なスタートをした生徒たちに、安心感を与えることが出来ました。
- ・「新しい学力」の修得について
探究力や自己発信力等の修得のために、研修旅行の事前学習に探究活動を取り入れたり、授業内でのアクティブラーニングの試行が活発化し、「調べ～話し合いや教え合い～発表」のサイクルを体験できる授業が増えています。
- ・新学習指導要領に向けての準備
年間を通じて、日課や単位数の改定についての検討が行われました。科や生徒の現状を踏まえた上で、どのような能力を伸ばさせ、特色のある学校作りをしていくかが模索されています。

○中学校

- ・探究力や自己発信力等の修得について
中学校では新設された「キャリア学習」の授業がスタートしました。初年度は市役所や地元企業などの外部団体のご協力を得て、テーマを定めて探究活動を実施し、学年末の学習発表会において班単位で発表をしました。
- ・新学習指導要領に向けての準備
2022年のグローバル中学コースのスタートを目前に、既存中学の学習内容をより充実させていくプログラム作りが急がれます。2020年度に巣立った高校3年生が、6年間の学びを重ねて大きな成果を上げてくれました。中学時代から培われた、地道な学習姿勢と積極的なチャレンジ精神の融合が実を結びました。

【3】重点目標：教員の資質の向上

○高等学校、中学校

- ・学校の質はひとえに教員の質の向上に懸っている、との観点からこの目標が掲げられました。
- ・「わかる授業」を目指して授業研究日が設けられ、全教員が一斉に授業の見学・講評を行いました。
- ・教員の危機管理意識の向上のため、大阪大学名誉教授、小野田正利先生による保護者対応に関する研修を実施しました。事例研究を含めた大変分りやすい示唆に富んだお話を聞くことができました。また、毎月の自己チェックシートによる評価が定着し、各教員が目指すべき教員像を具体的にイメージし自覚をもって、日々の業務に当たるようになっていきます。
- ・教員人事評価制度の導入2年目でした。評価シートによる自己評価と、管理者による面談によって、この制度への理解が進み、事業計画と自分の業務を有機的に結び付けて、日常業務にあたる意識と態度が醸成されていくことが期待されます。

1) 高等学校生徒募集の推移

(単位：人)

	入学定員	2021年度入学者 (2020年度募集)		2020年度入学者 (2019年度募集)		2019年度入学者 (2018年度募集)	
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
普通科・英数科	294	1,178	386	1,098	317	1,071	285

※中学校からの内進生を含みます。

2) 卒業生の進路状況

(単位：人)

	大学	短期大学	専門学校	受験準備	就職	留学	未定	合計
男子	86	0	16	3	7	0	2	114
女子	81	7	45	1	5	1	4	144
合計	167	7	61	4	12	1	6	258
比率	64.7%	2.7%	23.6%	1.6%	4.7%	0.4%	2.3%	100.0%

※未定(男子)は、就職準備のため自宅にて勉強中。

※留学は現地語学学校入学(終了後に海外大受験予定)。

※未定(女子)のうち1名は就職活動中。

3) 大学合格実績

《国公立大学 28名》

浜松医大(医1、看護2)3名、秋田大(医)1名、静岡大1名、静岡県立大(薬1、国関2)3名、静岡県立農林環境専門職大1名、静岡文化芸術大3名、北海道大1名、横浜国立大1名、信州大1名、山梨大1名、北見工業大1名、山形大1名、山口大1名、琉球大1名、長野県立大1名、富山県立大1名、島根県立大1名、下関市立大1名、名桜大2名、公立諏訪東京理科大1名、防衛医科大学校(看護自衛官)1名

《私立大学 281名》

聖隷クリストファー大学33名(うち入学者28名)、国際基督教大1名、早稲田大1名、学習院1名、青山学院大2名、立教大1名、法政大6名、関西学院大5名、立命館2名、明治学院大4名、南山大2名、津田塾大6名、同志社女子大1名、獨協大1名、日本大7名、駒澤大1名、専修大2名、近畿大3名、京都産業大9名、龍谷大5名、愛知大1名、

中京大3名、名城大6名、愛知淑徳大3名、國學院大1名、大東文化大1名、亜細亜大1名、帝京大2名、国土館大1名、麻布大2名、北里大1名、順天堂大(理学療法)1名、武蔵野大3名、愛知学院大6名、関西外国語大5名、京都外国語大6名、名古屋外国語大14名、関東学院大7名、神奈川工科大8名、常葉大29名(教育3、看護4、理学2、作業4)、中京学院大(看護)1名、中部大6名、豊橋創造大8名(看護7、理学1)、人間環境大(看護1)2名、浜松学院大(子ユミ)2名 他

4) 就職実績

《就職内定者 12名》

静岡県警察1名、陸上自衛隊1名、海上自衛隊1名、東海旅客鉄道株式会社1名、デンソー1名、ヤマト運輸株式会社主管支店1名、樂天堂整形外科2名、西山病院1名、和合病院(愛知県)1名、株式会社大羽1名、浜名湖グランドホテルさざなみ館1名

5) 国際交流(高等学校)

派遣 / 受入	短期プログラム	長期プログラム
本校語学研修プログラム (3か月)	イギリスへ1名	
本校から私費留学	なし	なし
県教委主催海外体験促進事業 (語学研修)	なし	
受入れ留学生	なし	2020年11月～2021年3月 タイから1名 2020年11月～現在 ドイツから1名

6) 部活動の主な実績

部活動名	2020年度 主な実績
男子 バレーボール部	静岡県高等学校バレーボール大会(高校総体代替大会)西部地区大会 優勝 静岡県高等学校バレーボール大会(高校総体代替大会)県大会 優勝 静岡県西部高等学校バレーボール選手権 優勝 第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会 静岡県西部地区大会 優勝 第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会 静岡県予選大会 優勝 第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会(春高バレー)2回戦進出
男子 サッカー部	第98回高校選手権静岡県大会 決勝トーナメント進出 ベスト16
野 球 部	夏季静岡県高等学校野球大会(選手権静岡大会代替)優勝 第73回秋季東海地区高等学校野球西部地区大会 3回戦進出 第4回浜松市内高等学校野球大会 優勝
女子 ソフトボール部	静岡県高等学校女子ソフトボール夏季大会(高校総体代替大会)県ベスト8 静岡県高等学校女子ソフトボール新人大会西部地区予選ベスト4 静岡県高等学校女子ソフトボール新人大会 県大会出場

部活動名	2020年度 主な実績
少林寺拳法部	静岡県高等学校新人体育大会 少林寺拳法競技 男子総合優勝 男子自由組演武 優勝、男子自由単独演武 2位 女子自由組演武 優勝 第24回全国高等学校少林寺拳法選抜大会 男子自由組演武 9位
吹奏楽部	第54回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト西部地区大会 管楽八重奏 金賞 第54回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト 管楽八重奏 金賞 第23回日本ジュニア管打楽器コンクール 本選考会 管楽八重奏 全国大会出場 第26回日本管楽合奏コンテスト全国大会 S部門 最優秀賞 第23回中部日本個人・重奏コンテスト静岡県大会 ソロ部門 クラリネット独奏 金賞、銀賞 第30回日本クラシック音楽コンクール ソロ部門 フルート独奏 入賞
放送部	第41回静岡県高等学校放送新人コンクール オーディオピクチャー部門『百花氷乱』第3位 ビデオメッセージ部門『和志』佳作 アナウンス部門 入選(2名) 朗読部門 第3位(1名)、入選(1名) 第17回北信越高等学校選抜放送大会 ビデオメッセージ部門『和志』出場 朗読部門 出場

聖隷クリストファー中学校

1) 中学校生徒募集の推移

	入学定員	2021年度入学者 (2020年度募集)		2020年度入学者 (2019年度募集)		2019年度入学者 (2018年度募集)	
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
中学校	70	58	43	38	22	74	53

2) 国際交流(中学校)

派遣 / 受入	短期プログラム	長期プログラム
本校から私費留学	なし	なし
受入れ留学生	なし	なし

2. 2021年度に向けての目標と展望

【1】安定した学校運営を目指す。

○高等学校

①生徒募集においては、定員の確保・遵守をめざします。

高校においては、本校が望む生徒像を多面的に描いて、多くの志望者が得られるような広報活動を展開します。

②保健室登校や不登校の生徒への対応を機敏かつきめ細かに行います。担任や学年主任が生徒の状況を把握し、保健室や支援員と連携して面談やカウンセリングに繋がります。

高校は転・退学者10人未満(2020年は転出7名)をめざします。

○中学校

①生徒募集においては、定員の確保・遵守をめざします。

細やかな生徒対応と、手を抜かない学習指導により信頼を得て、選ばれる中学校として、定員確保をめざします。

②保健室登校や不登校の生徒への対応を機敏かつきめ細かに行います。担任や学年主任が生徒の状況を把握し、保健室や支援員と連携して面談やカウンセリングに繋がります。

中学校は、転・退学者ゼロ(2020年はゼロ)をめざします。

【2】生徒が主体的に学習に取り組める授業態度を育成し、基礎学力の定着を図ります。

そのために、教員の研修を一層充実させます。

○高等学校、中学校

・新学習指導要領の改訂ポイントを押さえ、各教科で原案を作成します。

・「豊かな学力」の育成のために、ICT機器を活用した授業改善を図ります。教員用コンテンツ「Find! アクティブラーナー」を視聴し、全国で行われている授業や有識者の講演を動画で学び、授業改革に役立てます。

・教員研修として、リクルート社の監修によるプログラム「タグライン作成プロジェクト」を採用しました。全教員が参加して本校の理念やサービスを表す「タグライン」を作成し、教員の意識と団結心の向上を図ります。

【3】安心・安全な充実した学校生活を通して、様々な活動に主体的に取り組む態度を育成します。

○高等学校、中学校

・生徒の自己肯定感や自尊感情を高める活動を積極的に取り入れます。(ピアサポートなど)

・教育相談体制を充実させ、生徒理解と個に応じた指導・支援を行います。(相談室の充実、新入生面談の定着化、性格検査の活用など)

・支援対象生徒のカルテを整備し、生徒の状況や支援計画の情報を共有し、全教職員が連携した指導や支援を行います。

・新型コロナウイルス感染症対策を引き続き怠らずに持続していきます。

1) 生徒募集の推移

	入学定員*	2021年度入学者 (2020年度募集)		2020年度入学者 (2019年度募集)		2019年度入学者 (2018年度募集)	
		志願者数	入学者数	入学者数	入学者数	志願者数	入学者数
小学校	120	106	93	102	92	—	—

*2019年度募集は1年生60人、3年生30人、5年生30人を募集

*2020年度募集は1年生60人、3年生30人、5年生30人と2、4、6年生の転入学を募集。

2. 教育の特色について

本校の学びの根幹には、「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」というキリスト教の教えである「隣人愛」の精神があります。変化の激しい時代だからこそ、どんな時代になっても決して変わる事のない大切なことを土台として、すべての学びを展開しています。

◆英語イマージョン教育 English Immersion Education

本校の英語イマージョン教育は、母語である日本語力を大切にします。英語での授業は、多国籍の外国人による多様な見方に触れながら探究的に展開されます。2つの言語を知り、違う視点を持つことで、世界を、日本を、自分を深く知ることができます。もちろん、ツールとしての英語を身につけて、世界のどこにいても、自分で考え、表現できる力も養っていきます。児童は、外国人教員から英語で学ぶという環境で、日常会話レベルの英語から、学習英語レベルへと自然に英語力を身につけていきます。

◆探究型学習 Inquiry-based Learning

児童自らが課題を発見・設定し、その解決に向けて情報を収集・整理・分析し、友人や先生との意見交換・協働したりしながら進めていく学習活動です。探究型の学習では、児童の思考力や判断力、表現力などの育成を目的としており、教科書の知識を詰め込む学習ではなく、体験活動を中心にすえ、主体的に学び問題を解決することで、次の学習に役立つ本当に理解された知識を積み重ねていきます。

◆教科横断的学習 Transdisciplinary Learning

世界には、ひとつの教科では扱いきれない問いがあふれています。教科横断的学習では、そうした課題を多面的な視野から見つめ、各教科の枠を超えて知識や考え方に関連を持たせながら、全面的な理解をめざします。

◆概念的学習 Conceptual Learning

概念を獲得する学びは、探究型学習や教科横断的学習のひとつ上の階層のイメージです。様々な学習体験を通して得た新しい発見や知識を、誰もが共有できる概念、言葉として表現する力を育てていきます。「正方形とはこういうものだ」「幸せとはこういうものだ」。新たな概念にたどり着くためには、自ら考え主体的に行動する資質・能力が欠かせません。

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

◆ 年間行事

日付	内容
4月 1日(水)	保育開始
8日(水)	1学期始園日
11日(土)	入園式(56名入園)
14日(水)	イースター礼拝
5月 12日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
14日(木)	
13日(水)	母の日礼拝
23日(土)	入園説明会(次年度入園希望3歳児対象)①
6月 3日(水)	尿検査(4.5歳児)
10日(水)	花の日礼拝
16日(火)	歯科健診
18日(木)	プール開き
20日(土)	入園説明会(次年度入園希望3歳児対象)②
23日(火)	視力検査①(4.5歳児)
24日(水)	園外保育(5歳児) 里山体験
27日(土)	自然体験企画「都田川魚とり体験①」
7月 1日(水)	月礼拝
7日(火)	視力検査②(4.5歳児)
8日(水)	園外保育(5歳児) 里山体験
13日(月)	視力検査③(4.5歳児)
27日(月)	サマーフェスタ 5歳児
28日(火)	4歳児
29日(水)	0.1.2歳児他
30日(木)	3歳児
8月 27日(木)	2学期始園日
9月 1日(火)	防災引渡訓練
4日(金)	プール納め
8日(火)	歯科検診
9日(水)	月礼拝
12日(土)	自然体験企画「都田川魚とり体験②」
10月 1日(木)	プレイデー(運動会)3歳児 於:中高ソフトボール場
2日(金)	プレイデー(運動会)4歳児 於:中高ソフトボール場
3日(土)	プレイデー(運動会)5歳児 於:中高ソフトボール場
4日(土)	園庭プロジェクト
6日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
7日(水)	
8日(木)	内科検診
10月 14日(水)	月礼拝
24日(土)	プレイデー(運動会、0.1.2歳児) 於:園庭
26日(月)	プレイデー(運動会、満3歳児) 於:園庭
27日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
28日(水)	
11月 4日(水)	収穫感謝礼拝
5日(木)	収穫感謝訪問、野外パーティー
6日(金)	園外保育(5歳児) のんほいパーク
7日(土)	幼児祝福式(3.5歳児希望者) 於:遠州栄光教会

日付	内容
11月 14日(土)	制服採寸(次年度3歳入園・進級者対象)
24日(火)	緑の環境プラン大賞受賞式
25日(水)	自然体験企画「五平餅づくり」
12月 5日(土)	クリスマスのつどい(0・1・2・3歳児)
8日(火)	自然体験企画「小麦挽き・すいとん作り」
10日(木)	学園クリスマスツリー点火祭
18日(金)	2学期終園日
19日(土)	クリスマスのつどい(4・5歳児)
18日(水)	2学期終園日
22日(火)	クリスマスのつどい(満3歳児)
26日(金)	園庭プロジェクト
1月 7日(木)	3学期始園日
8日(金)	園外保育(5歳児) 親子里山体験
12日(月)	
13日(水)	月礼拝
16日(土)	親子運動遊び(きのいい羊)、 どうぶつしょうぎ[保護者会主催]
18日(月)	自然体験企画「竹巻きパン」(5歳児)
21日(木)	オープン保育デー(4歳児)
22日(金)	
26日(火)	オープン保育デー(3歳児)
27日(水)	
28日(木)	
2月 2日(火)	節分パーティー
3日(水)	オープン保育デー(5歳児)
4日(木)	
5日(金)	自然体験企画「豆乳・豆腐作り」
10日(水)	月礼拝
15日(金)	クリストファー小学校1年生との交流会(5歳児)、 自然体験企画「ポップコーン・こんにゃく作り」
18日(木)	交通安全教室(4・5歳児)
24日(水)	園外保育(5歳児) 里山体験
25日(木)	
26日(金)	人形劇(むすび座)[保護者会主催]
27日(土)	きりん組のつどい(4歳児)、クラス懇談会(0-4歳児)
3月 1日(月)	卒園Dayキャンプ(5歳児)
2日(火)	ひなまつりパーティー
3日(水)	月礼拝
9日(火)	園外保育(4歳児) 里山体験、 卒園礼拝
11日(木)	
13日(土)	卒園式(58名卒園)
17日(水)	3学期終園日、大掃除
26日(金)	園庭プロジェクト
29日(月)	小学1年生(2019年度卒園生)同窓会、 2017年度、2018年度卒園生記念植樹

(3) 施設等の状況 (2021年3月31日現在)

現有施設の状況

土地

所在地	面積等	取得価額	摘要
静岡県浜松市北区三方原町 3453	41,813 m ²	434,456 千円	聖隷クリストファー大学キャンパス
	70,902 m ²	2,165,391 千円	聖隷クリストファー中高キャンパス
	501 m ²	57,133 千円	聖隷クリストファー小学校
静岡県浜松市北区三方原町 2762	4,290 m ²	70,945 千円	クリストファーこども園(園舎・園庭)
合計	117,506 m ²	2,727,925 千円	

校舎等

所在地	施設等(建物名称)	面積等	取得価額	帳簿価額
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	聖隷クリストファー大学(1号館)	9,068 m ²	2,338,542 千円	923,869 千円
	〃 (2号館)	4,026 m ²	721,978 千円	381,345 千円
	〃 (3号館)	4,727 m ²	902,099 千円	483,752 千円
	〃 (4号館)	1,199 m ²	194,260 千円	53,058 千円
	〃 (旧5号館旧棟)	2,623 m ²	305,909 千円	73,063 千円
	〃 (5号館)	5,134 m ²	948,666 千円	739,615 千円
	〃 (機械室)	11 m ²	1,124 千円	351 千円
	〃 (学生・同窓会館)	964 m ²	155,433 千円	46,562 千円
	〃 (キリスト教センター)	78 m ²	19,749 千円	7,270 千円
	〃 (第一体育館)	781 m ²	237,883 千円	113,089 千円
	〃 (第二体育館)	495 m ²	46,702 千円	16,422 千円
	〃 (第一テニスクラブハウス)	35 m ²	10,754 千円	1,499 千円
聖隷クリストファー大学 合計		29,141 m ²	5,883,098 千円	2,839,895 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	専門学校棟	574 m ²	160,760 千円	100,855 千円
聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 合計		574 m ²	160,760 千円	100,855 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	聖隷クリストファー中・高等学校(校舎)	9,332 m ²	1,622,974 千円	951,815 千円
	〃 (体育館)	4,369 m ²	769,645 千円	451,160 千円
	〃 (総合運動場クラブハウス)	176 m ²	34,011 千円	15,826 千円
	〃 (第二テニスクラブハウス)	106 m ²	17,379 千円	9,520 千円
	〃 (サッカー場クラブハウス)	193 m ²	36,003 千円	12,818 千円
	〃 (野球部部室)	62 m ²	20,855 千円	9,475 千円
	〃 (ガス整圧室、ホップ室)	15 m ²	29,800 千円	9,054 千円
〃 (ソフトボール場倉庫)	65 m ²	1,908 千円	572 千円	
聖隷クリストファー中・高等学校 合計		14,318 m ²	2,532,575 千円	1,460,240 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	聖隷クリストファー小学校校舎	3,499 m ²	1,006,676 千円	970,689 千円
聖隷クリストファー小学校 合計		3,499 m ²	1,006,676 千円	970,689 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 2762	クリストファーこども園園舎	2,139 m ²	503,306 千円	357,435 千円
聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 合計		2,139 m ²	503,306 千円	357,435 千円
総合計		49,671 m ²	10,086,415 千円	5,729,114 千円

3 財務の概要

(1) 決算の概要

①貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

貸借対照表は資産（土地や建物など）が何によってどのようなバランスで賄われているかを表し、財務の健全性を示したものです。

資産は、固定資産が対前年度比 8,664 万円減の 101 億 1862 万円となり、流動資産は対前年度比 4 億 2,330 万円増の 46 億 8,392 万円となり、総資産額は対前年度比 3 億 3,666 万円増の 148 億 254 万円となりました。これらの主な要因は、小学校校舎建築費用（固定資産分）11 億 5,737 万円を自己資金で賄ったことによるものです。

負債は、負債の部合計が前年度比 5,760 万円減の 40 億 690 万円となりました。主な要因は借入金の返済進行によるものです。

校舎建設、土地購入などによる借入金のための負債の割合が高いですが、総資産の 72.9% は自己資金で賄われていることにより、財務の安定性は十分な余力があることがわかります。

また、借入金は現状のキャッシュフローにおいて最短約 2 年での全額返済が可能であり、十分な返済能力を備えていると認識しております。

資産の部合計		負債の部合計	
14,803		4,007	
(主な内容)		(主な内容)	
(現金預金 4,489)		(借入金 1,652)	
(土地 2,728)		(前受金 1,544)	
(建物 5,729)			
		自己資金 10,796	

(単位:百万円)

	【有利子負債返済可能年数】	
借入金	1,652 百万円	= 2.1 年
学校運営にかかる キャッシュフロー	799 百万円	

◎経年比較

	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末	2020年度末
固定資産	9,408,802	9,214,009	9,062,505	10,205,261	10,118,619
流動資産	4,712,562	5,021,384	5,403,749	4,260,622	4,683,921
資産の部合計	14,121,365	14,235,394	14,466,254	14,465,883	14,802,540
固定負債	2,524,867	2,400,461	2,268,417	2,134,312	2,009,884
流動負債	1,931,381	1,879,035	1,989,263	1,930,195	1,997,020
負債の部合計	4,456,249	4,279,496	4,257,680	4,064,507	4,006,904
基本金	13,567,384	13,829,920	14,097,544	15,488,669	15,893,807
繰越収支差額	△ 3,902,268	△ 3,874,022	△ 3,888,970	△ 5,087,293	△ 5,098,171
純資産の部合計	9,665,116	9,955,898	10,208,574	10,401,376	10,795,636
負債及び純資産の部合計	14,121,365	14,235,394	14,466,254	14,465,883	14,802,540

(単位:千円)

イ) 財務比率の経年比較

区 分			評価	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	全国平均 2019年度	
貸借対照表関係比率	1	固定資産 構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	▼	66.6%	64.7%	62.6%	70.5%	68.4%	86.7%
	2	流動資産 構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	△	33.4%	35.3%	37.4%	29.5%	31.6%	13.3%
	3	固定負債 構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$	▼	17.9%	16.9%	15.7%	14.8%	13.6%	6.9%
	4	流動負債 構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$	▼	13.7%	13.2%	13.8%	13.3%	13.5%	5.3%
	5	運用資産 余裕比率	$\frac{\text{運用資産}-\text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	△	0.66年	0.80年	0.88年	0.59年	0.73年	1.95年
	6	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	△	244.0%	267.2%	271.6%	220.7%	234.5%	251.8%
	7	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	▼	31.6%	30.1%	29.4%	28.1%	27.1%	12.2%
	9	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	△	85.4%	86.6%	87.7%	89.2%	90.5%	97.2%
	10	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	△	300.0%	324.9%	338.2%	278.0%	290.8%	348.8%
	11	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	△	69.1%	70.1%	72.2%	54.9%	57.2%	78.5%

②資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位:千円)

収入の部	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
学生生徒等納付金収入	2,628,743	2,626,446	2,622,592	2,612,964	2,713,748
手数料収入	57,895	58,454	58,904	60,231	60,149
寄付金収入	52,527	65,655	53,901	79,218	86,959
補助金収入	814,366	823,391	797,235	785,248	969,673
資産売却収入	0	300	249	20	0
付随事業・収益事業収入	11,367	12,137	15,441	17,490	22,792
受取利息・配当金収入	1,355	1,394	1,799	1,134	907
雑収入	66,208	94,593	137,017	93,144	97,803
借入金等収入	170,000	0	0	0	0
前受金収入	1,541,909	1,516,781	1,554,589	1,486,143	1,543,572
その他の収入	91,896	69,048	84,557	130,945	155,046
資金収入調整勘定	△ 1,571,491	△ 1,604,298	△ 1,632,786	△ 1,655,451	△ 1,664,295
前年度繰越支払資金	4,329,499	4,625,701	4,928,382	5,257,116	4,132,034
収入の部合計	8,194,277	8,289,605	8,621,883	8,868,202	8,118,388

支出の部	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
人件費支出	2,230,470	2,266,937	2,345,026	2,335,462	2,364,671
教育研究経費支出	485,915	503,686	491,602	519,578	569,627
管理経費支出	245,799	234,374	257,188	295,989	273,828
借入金等利息支出	34,414	32,329	29,949	27,685	25,303
借入金等返済支出	154,340	154,860	151,660	151,660	151,660
施設関係支出	251,823	45,996	68,444	1,150,657	97,121
設備関係支出	75,800	57,002	73,571	152,881	113,657
資産運用支出	0	18,375	250	94,222	454
その他の支出	212,531	155,629	130,132	200,845	204,156
資金支出調整勘定	△ 122,519	△ 107,967	△ 183,055	△ 192,811	△ 171,360
次年度繰越支払資金	4,625,701	4,928,382	5,257,116	4,132,034	4,489,271
支出の部合計	8,194,277	8,289,605	8,621,883	8,868,202	8,118,388

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

「資金収支計算書」は学校法人の資金の出入りを表す財務諸表で、一般企業のキャッシュフロー計算書に類するものです。2015年度から学校法人会計基準の改正に伴い、新たに活動区分ごとの資金の流れがわかる「活動区分資金収支計算書」の作成が義務付けられました。

下記は活動区分ごとの示した表となっております。

2020年度は教育研究活動により発生した資金は7億9,899万円でした。施設・設備投資には2億1,078万円を充当しました。

これら法人全体の事業活動により、前年度より資金が約3億5,724万円増加しました。

(単位:千円)

科 目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,628,029	3,679,356	3,684,876	3,641,524	3,946,464
教育活動資金支出計	2,961,075	3,004,328	3,093,816	3,151,029	3,208,126
差引	666,954	675,028	591,060	490,495	738,338
調整勘定等	34,736	△ 46,207	55,688	△ 87,598	60,656
教育活動資金収支差額	701,690	628,821	646,748	402,897	798,994
施設設備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	3,079	805	465	6,791	3,659
施設整備等活動資金支出計	327,624	102,999	142,015	1,303,537	210,777
差引	△ 324,545	△ 102,194	△ 141,550	△ 1,296,746	△ 207,118
調整勘定等	△ 61,199	△ 17,423	△ 11,101	38,550	△ 34,624
施設整備等活動資金収支差額	△ 385,744	△ 119,617	△ 152,651	△ 1,258,196	△ 241,742
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	315,946	509,204	494,097	△ 855,299	557,252
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	183,796	13,733	23,971	16,076	56,072
その他の活動資金支出計	203,838	218,742	191,620	286,851	184,201
差引	△ 20,042	△ 205,009	△ 167,649	△ 270,775	△ 128,129
調整勘定等	298	△ 1,514	2,286	992	△ 71,886
その他の活動資金収支差額	△ 19,744	△ 206,523	△ 165,363	△ 269,783	△ 200,015
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	296,202	302,681	328,734	△ 1,125,082	357,237
前年度繰越支払資金	4,329,499	4,625,701	4,928,382	5,257,116	4,132,034
翌年度繰越支払資金	4,625,701	4,928,382	5,257,116	4,132,034	4,489,271

ウ) 財務比率の経年比較

・教育活動資金収支差額比率

区 分	評 価	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	全国平均 2019年度
教育活動資金 収支差額比率	△	19.3%	17.1%	17.6%	11.1%	20.2%	14.4%

(評価)△:高いほうがよい ▼:低いほうがよい -:どちらともいえない

※全国平均:2019(R元)年度大学法人平均(医歯系法人を除く)「日本私立学校振興・共済事業団」より

③事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

事業活動収支計算書は学校運営の収入と支出の内容を表したもので、一般企業の損益計算書に類するものです。

事業活動収支差額は3億9426万円のプラスとなりました。この収支差額は2020年度第一次補正額よりも2億7021万円改善しています。

《各部門別》

(単位:千円)

科目	法人	大学	高等学校	中学校	小学校	こども園	専門学校	合計	
事業活動収入	学生生徒等納付金	0	2,153,222	377,636	55,182	77,285	14,443	35,980	2,713,748
	手数料(入学検定料含む)	0	39,844	17,162	900	1,605	0	638	60,149
	寄付金	0	23,177	43,950	7,539	9,868	701	252	85,488
	補助金	0	288,820	360,312	48,322	36,295	230,533	3,338	967,620
	付随事業・雑収入等	712	95,087	4,216	641	854	19,396	1,072	121,979
	教育活動外収入(受取利息等)	1,000	598	186	25	28	59	9	1,906
	特別収入(施設設備、現物寄付金等)	0	11,368	1,860	79	100	54	0	13,462
合計	1,712	2,612,117	805,322	112,689	126,035	265,187	41,290	3,964,352	
事業活動支出	人件費	55,607	1,463,271	426,299	91,102	129,023	176,448	30,383	2,372,133
	教育研究経費	0	530,651	151,354	20,858	62,828	61,176	13,996	840,864
	(うち減価償却額)	0	138,404	56,309	4,168	41,818	24,729	5,673	271,101
	管理経費	42,086	124,063	75,144	18,209	35,938	7,939	5,680	309,059
	(うち減価償却額)	11,677	5,014	82	10	32	511	48	17,373
	徴収不能額等	0	0	0	0	0	0	0	0
	教育活動外支出(借入金利息等)	0	7,176	18,127	0	0	0	0	25,303
特別支出(資産処分差額等)	1,370	20,866	450	47	0	0	0	22,733	
合計	99,063	2,146,027	671,375	130,216	227,790	245,563	50,058	3,570,092	
経常収支差額	△ 95,981	475,588	132,536	△ 17,559	△ 101,855	19,571	△ 8,768	403,532	
事業活動収支差額	△ 97,351	466,090	133,947	△ 17,527	△ 101,755	19,624	△ 8,768	394,260	

◎経年比較

(単位:千円)

科目	年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	2,629,443	2,626,576	2,622,867	2,613,134	2,713,748
	手数料	57,896	58,454	58,904	60,231	60,149
	寄付金	52,311	65,440	54,582	79,001	85,488
	経常費等補助金	811,503	823,102	797,235	778,693	967,620
	付随事業収入	11,367	12,137	15,441	17,490	21,792
	雑収入	66,209	93,783	137,018	93,144	100,187
	教育活動収入計	3,628,729	3,679,492	3,686,047	3,641,693	3,948,984
	事業活動支出の部					
	人件費	2,218,779	2,284,761	2,347,868	2,338,082	2,372,133
	教育研究経費	795,156	796,336	759,069	750,261	840,864
	管理経費	273,810	263,574	287,131	324,037	309,059
	徴収不能額等	788	129	275	170	0
	教育活動支出計	3,288,533	3,344,800	3,394,343	3,412,550	3,522,056
教育活動収支差額	340,196	334,692	291,704	229,143	426,928	

(単位:千円)

科目		年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
教育活動外收支	事業活動収入の部						
		受取利息・配当金	1,355	1,394	1,799	1,134	907
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	1,000
		教育活動外収入 計	1,355	1,394	1,799	1,134	1,907
		事業活動支出の部					
		借入金等利息	34,414	32,330	29,949	27,685	25,303
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	
	教育活動外支出 計	34,414	32,330	29,949	27,685	25,303	
	教育活動外収支差額	△ 33,059	△ 30,936	△ 28,150	△ 26,551	△ 23,396	
経常収支差額			307,137	303,756	263,554	202,592	403,532
特別収支	事業活動収入の部						
		資産売却差額	0	300	249	20	0
		その他の特別収入	12,043	9,377	12,660	13,753	13,462
		特別収入 計	12,043	9,677	12,909	13,773	13,462
		事業活動支出の部					
		資産処分差額	3,704	434	2,240	2,017	1,186
	その他の特別支出	22,657	22,217	21,547	21,547	21,547	
	特別支出 計	26,361	22,651	23,787	23,564	22,733	
	特別収支差額	△ 14,318	△ 12,974	△ 10,878	△ 9,791	△ 9,271	
基本金組入前当年度収支差額			292,819	290,782	252,676	192,801	394,260
基本金組入額合計			△ 363,100	△ 264,755	△ 267,623	△ 1,391,124	△ 406,093
当年度収支差額			△ 70,281	26,027	△ 14,947	△ 1,198,323	△ 11,833
前年度繰越収支差額			△ 3,832,761	△ 3,902,269	△ 3,874,023	△ 3,888,970	△ 5,087,293
基本金取崩額			773	2,219	0	0	955
翌年度繰越収支差額			△ 3,902,269	△ 3,874,023	△ 3,888,970	△ 5,087,293	△ 5,098,171

(参考)

事業活動収入 計	3,642,127	3,690,563	3,700,755	3,656,600	3,964,353
事業活動支出 計	3,349,308	3,399,781	3,448,079	3,463,799	3,570,092

イ) 財務比率の経年比較

区 分			評価	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	全国平均 2019年度	
事業活動収支計算書関係比率	1	人件費比率	人件費 経常収入	▼	61.1%	62.1%	63.7%	64.2%	60.0%	53.2%
	2	人件費依存率	人件費 学生生徒等納付金	▼	84.4%	87.0%	89.5%	89.5%	87.4%	70.8%
	3	教育研究経費比率	教育研究経費 経常収入	△	21.9%	21.6%	20.6%	20.6%	21.3%	33.5%
	4	管理経費比率	管理経費 経常収入	▼	7.5%	7.2%	7.8%	8.9%	7.8%	8.9%
	5	借入金等利息比率	借入金等利息 経常収入	▼	0.9%	0.9%	0.8%	0.8%	0.6%	0.2%
	6	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度 収支差額 事業活動収入	△	8.0%	7.9%	6.8%	5.3%	9.9%	4.7%
	7	基本金組入後収支比率	事業活動支出 事業活動収入-基本金組入額	▼	102.1%	99.2%	100.4%	152.9%	100.3%	107.0%
	8	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 経常収入	-	72.4%	71.4%	71.1%	71.7%	68.7%	75.1%

区 分			評 価	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	全国平均 2019年度
事業 活動 収支 計算 書 関 係 比 率	9	寄付金比率 寄 付 金 事 業 活 動 収 入	△	1.7%	2.0%	1.5%	2.2%	2.4%	2.1%
	10	補助金比率 補 助 金 事 業 活 動 収 入	△	22.4%	22.3%	21.5%	21.5%	24.5%	12.2%
	11	基本金組入率 基 本 金 組 入 額 事 業 活 動 収 入	△	10.0%	7.2%	7.2%	38.0%	10.2%	10.9%
	12	減価償却額比率 減 価 償 却 額 経 常 支 出	-	9.8%	9.2%	8.3%	7.2%	8.1%	11.8%
	13	経常収支差額 比 率 経 常 収 支 差 額 経 常 収 入	△	8.5%	8.3%	7.1%	5.6%	10.2%	4.2%
	14	教育活動収支 差額比率 教 育 活 動 収 支 差 額 教 育 活 動 収 入 計	△	9.4%	9.1%	7.9%	6.3%	10.8%	2.6%

(評価)△:高いほうがよい ▼:低いほうがよい -:どちらともいえない

※全国平均:2019(R元)年度大学法人平均(医歯系法人を除く)「日本私立学校振興・共済事業団」より

(2) その他

① 有価証券の状況

所有しておりません

② 借入金の状況

(単位:円)

借 入 先	期末残高	摘 要
		使 途
日本私立学校振興・共済事業団	696,020,000	大学5号館建築、運動場用地 労作用地、セミナーハウス棟建築
遠州信用金庫中川支店	273,200,000	高校校舎用地購入、運動場整備 校舎建築、大学2号館建築
りそな銀行浜松支店	100,520,000	高校校舎建築、大学2号館建築
浜松磐田信用金庫三方原支店	314,290,000	高校校舎用地購入、運動場整備 校舎建築、大学2号館建築
静岡銀行浜松営業部	267,500,000	大学2号館建築、高校校舎建築 大学3号館建築
合 計	1,651,530,000	

③ 学校債の状況

発行しておりません

④ 寄付金の状況

(単位:円)

区分	氏名	金額	用途・品目等
一般寄付金	個人(5名)	6,108,163	
	聖隷クリスファー中・高等学校PTA様	1,745,928	
	聖隷クリスファー中・高等学校後援会様	3,354,900	
	聖隷クリスファー中・高等学校学年会計	919,468	
	合計	12,128,459	
特別寄付金	個人(37名)	3,419,328	キリスト教教育、外国人留学生支援、部活動支援 他
	独立行政法人日本学生支援機構様	975,000	新型コロナウイルス感染症対策助成金
	一般社団法人日本私立看護系大学協会様	100,000	新型コロナウイルス感染症禍に伴う衛生管理経費
	株式会社星医療酸器様	200,000	教員の研究に対する資金
	聖隷クリスファー大学同窓会様	100,000	図書購入資金
	聖隷クリスファー大学後援会様	18,986,014	スクールバス補助、学生食堂光熱水費 他
	聖隷クリスファー中・高等学校後援会様	48,718,720	スクールバス補助
	聖隷クリスファー中・高等学校PTA様	375,005	学生用コピー用紙補助、カフェテリア経費
	聖隷クリスファー高等学校2020年度卒業生様	1,290,000	卒業記念品購入資金
	聖隷クリスファー小学校教職員様	100,000	発達検査キット購入支援金
	クリスファーこども園2017年度卒園児様	114,328	園庭植栽工事費用
	クリスファーこども園2018年度卒園児様	249,000	園庭植栽工事費用
	クリスファーこども園2019年度卒園児様	203,000	園庭植栽工事費用、絵本購入資金
	合計	74,830,395	
現物寄付金	個人(27名)	9,138,255	科研費補助金購入備品 他
	聖隷クリスファー中・高等学校PTA様	620,400	オゾン除菌脱臭器エアースター
	クリスファーこども園2020年度卒園児様	179,000	絵本、カプラブロック1000一式
	合計	9,937,655	

寄付金合計 96,896,509

⑤ 補助金の状況

(単位:円)

補助金名称	交付団体	施設	決定金額
私立大学等経常費補助金	日本私立学校振興・共済事業団	大学	220,361,000
大学等における修学の支援に関する法律による令和2事業年度授業料等減免費交付金	日本私立学校振興・共済事業団	大学	68,093,600
令和2年度私立学校情報機器整備費(遠隔授業活用推進事業)補助金	文部科学省	大学	2,053,000
令和2年度学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策のためのマスク等購入支援事業)	文部科学省	高校	145,000
		中学	20,000
		小学校	15,000
令和2年度学校保健特別対策事業費補助金(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業)	文部科学省	高校	1,500,000
		中学	500,000
		小学校	500,000
令和2年度学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業)	文部科学省	高校	248,000
		中学	36,000
		小学校	400,000
理科教育設備整備費等補助金	文部科学省	中学	139,000
新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金支給	厚生労働省	こども園	225,380
私立学校経常費補助金	静岡県	高校	318,694,000
		中学	47,051,000
		小学校	35,058,000
静岡県私立高等学校授業料減免事業費補助金	静岡県	高校	35,867,100
高等学校等就学支援金事務費補助金	静岡県	高校	592,000
私立学校臨時休業対策事業費補助金	静岡県	高校	1,344,000
私立学校スクールカウンセラー配置等事業費補助金	静岡県	高校	523,200
		中学	76,800
私立専修学校運営費補助金	静岡県	専門学校	2,571,000
令和2年度私立専門学校就学支援事業費補助金	静岡県	専門学校	750,000
結核健康診断費補助金	浜松市	大学	365,126
		高校	303,160
		専門学校	17,160
私立学校教育振興事業費補助金	浜松市	高校	1,095,400
		中学	499,200
		小学校	322,400
施設型給付費	浜松市	こども園	201,050,186
私立保育所等入所児童処遇向上費補助金	浜松市	こども園	10,850,000
私立保育所等事業費補助金	浜松市	こども園	13,034,000
浜松市在園児下の子の優先利用支援事業費補助金	浜松市	こども園	2,406,000
浜松市幼稚園型一時預かり事業費補助金	浜松市	こども園	1,467,900
私立保育所等新型コロナウイルス感染症対策事業	浜松市	こども園	1,000,000
令和2年度浜松市新しい生活様式支援天竜材活用事業補助金	浜松市	こども園	500,000
合計			969,673,612

⑥ 収益事業の状況

本法人は、私立学校法に基づく収益事業を2019年度から開始いたしました。当該収益事業は、学校法人会計から区分し、一般に公正妥当と認められる企業会計の原則により経費処理することとされており、本法人では、2019年12月に、中・高等学校に隣接するマンションを購入し、貸家業として、家賃収入を得ています。

収益事業会計 損益計算書（マンションM）

令和2年4月1日から
令和3年3月31日まで (単位:円)

科目	金額
1. 営業損益	
(1) 営業収益	13,024,100
(2) 営業費用	9,746,050
営業利益	3,278,050
2. 営業外損益	
(1) 営業外収入	3,041
(2) 営業外費用	325,223
経常利益	2,955,868
学校会計繰入前利益	2,955,868
学校会計繰入支出	0
税引き前当期純利益	2,955,868
法人税、住民税及び事業税	
当期純利益	2,955,868
前期繰越利益	917,984
繰越利益剰余金	3,873,852

収益事業会計 貸借対照表（マンションM）

令和3年3月31日現在 (単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	4,424,271	流動負債	8,490,812
現金預金	4,166,390	未払金	109,512
保証金	75,000	短期借入金	4,992,000
前払費用	182,881	預り金	2,248,000
		前受金	1,141,300
固定資産	140,930,571	固定負債	38,768,000
有形固定資産		長期借入金	38,768,000
建物	88,265,730	負債の部合計	47,258,812
建物減価償却引当金	△ 3,648,316		
構築物	980,100	純資産の部	
構築物減価償却引当金	△ 59,296	元入金	94,222,178
土地	55,392,353	利益剰余金	
		その他の利益剰余金	3,873,852
		繰越剰余金	3,873,852
		純資産合計	98,096,030
資産の部合計	145,354,842	負債・純資産の部合計	145,354,842

⑦ 関連当事者等との取引の状況

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係の内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員の兼任等	事業上の関係				
理事長	長谷川 了	—	—	—	—	—	—	当法人の借入に対する債務被保証 (注1)	640,060,000	—	—
理事	山本 敏博	—	—	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 理事長	—	—	設備の賃借	実習控室借用料(注2)	3,960,000	教育研究経費	—
						—	健康診断委託	学生生徒検診委託料(注2)	3,924,272	教育研究経費	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

※取引金額は消費税込み

(注1)当法人は、金融機関等からの借入に対して、理事長 長谷川了より債務保証を受けており、取引金額は令和3年3月末残高である。なお、保証料の支払いは行っていない。

(注2)理事 山本敏博が、第三者(社会福祉法人 聖隷福祉事業団)の代表者として行っている取引である。取引条件は双方協議の上、契約等に基づき決定している。

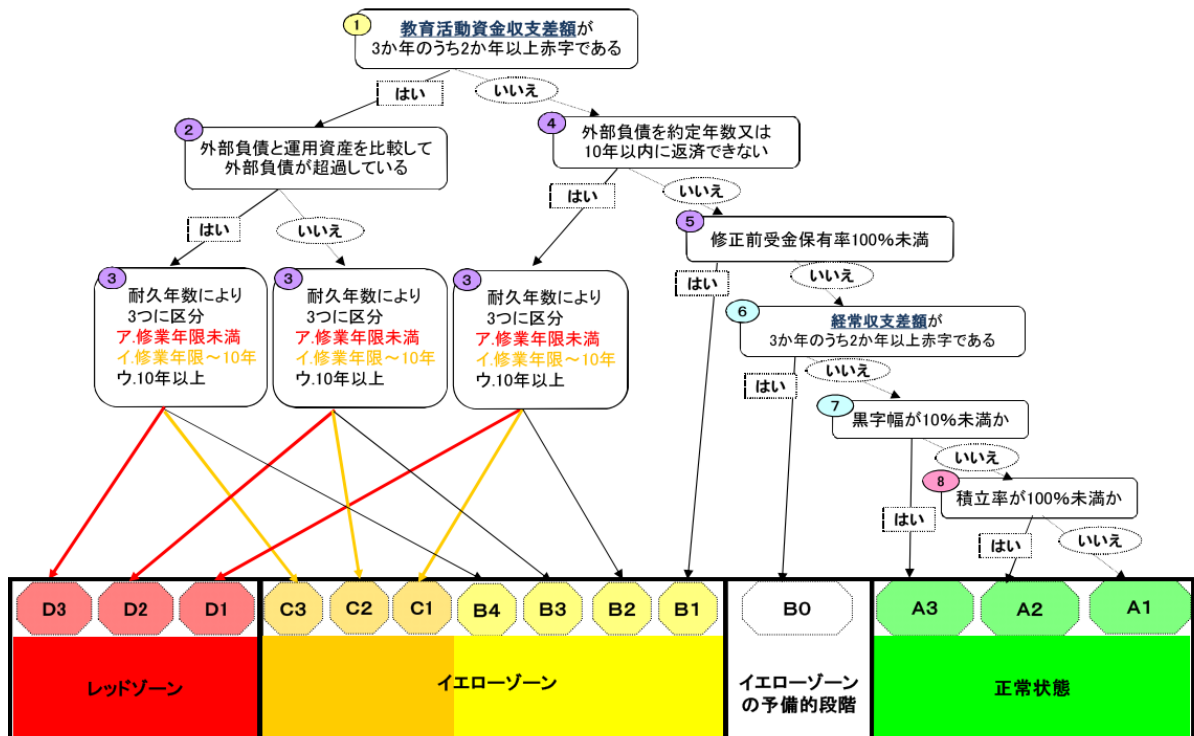
⑧ 学校法人間財務取引

該当なし

(3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

① 経営判断指標に基づく学校法人経営状態の区分から

日本私立学校振興・共済事業団では、私立学校への適切な指導を行うために、学校法人の経営状態を定量的な指標により 14 通りに分類しています。この指標に基づき自己診断したところ、本学園は経常収支差額比率 10.2%で、A2 ランクに分類され、財務状況は正常な状態にあります。



②2020年度決算概要について

学生・生徒・児童・園児数は小学校開校に伴い、小学生 92 名含む 2,873 名となり、前年度から 161 名増加しています。定員充足率は学園全体で 93.7%（対前年度比 1.5 ポイント増）となりました。

事業活動収入は、3,964,353 千円（対前年度 307,753 千円増）、事業活動支出は 3,570,092 千円（対前年度 106,293 千円増）となり、収支差額は 394,261 千円（対前年度 201,460 千円増）となりました。学生数増に伴って納付金、補助金が増加する一方、支出で大きな割合を占める人件費は 34,051 千円の増加に留まりました。この増加には、小学校人件費 129,024 千円を含んでおり、他部門における教員数減により減額となっており、人件費比率は法人全体で 60.1%（同 4.1 ポイント減）となりました。

この他、2020 年度は新型コロナウイルス感染症対策として、国、県市町村からの補助金の交付獲得を積極的に行ない、コロナ禍においても教育保育活動を行える環境へ整備しました。

施設・設備の整備については、中高ソフトボール場移転用地購入手付金 25,000 千円、小学校では、学年進行に伴う備品等購入 40,779 千円、新型コロナウイルス感染症対策として大学教室改修、机・椅子購入 18,467 千円、ICT 関連教育環境充実 12,773 千円、また、中・高等学校では、中・高隣接地購入 25,588 千円、陸上トラック改修工事 12,100 千円など教育環境の充実を行いました。

こうした状況のもとで、2020 年度の事業活動収支差額比率は、法人全体で 9.9%（対前年度比 4.6 ポイント増）となりました。

法人全体における教育活動のキャッシュフローは 798,994 千円（2019 年度 402,897 千円）のプラスになります。施設整備等活動のキャッシュフローは△241,742 千円で、これは前述の施設・設備の整備によるものです。その他活動のキャッシュフローは△200,015 千円となります。次年度繰越支払資金は 357,237 千円増となり、繰越支払資金は 4,132,034 千円となりました。

今後、教育研究保育環境の充実・整備を図りつつ、中長期経営計画実現に向け財源を継続して確保する必要があります。事業の継続ならびに新規構想の推進には財政基盤の強化が必要であり、自主財源の確保は、入学入園者見込数を確実に確保していくこと、支出については、その 60%以上を占める人件費政策を行うことが必須となります。

③各学校別財務比率から

<学校法人全体の主要財務指標の内容>

ここでは主に下記の指標を用いて2020年度決算における経営状況および改善傾向を把握することができます。

① 収容定員充足率 = 学生現員 ÷ 収容定員

定員に対する学生数の割合を示したものです。100%であることが理想です。

② 経常収支差額比率 = 経常収支差額 ÷ 経常収入

③ 流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債

短期的な資金繰りの余裕度合を表したもので、150~200%が理想的です。

④ 運用資産余裕比率 = (運用資産*1 - 外部負債*2) ÷ 経常支出 …法人全体のみ

*1 運用資産=現預金+特定預金 *2 外部負債=総負債-退職給与引当金-前受金

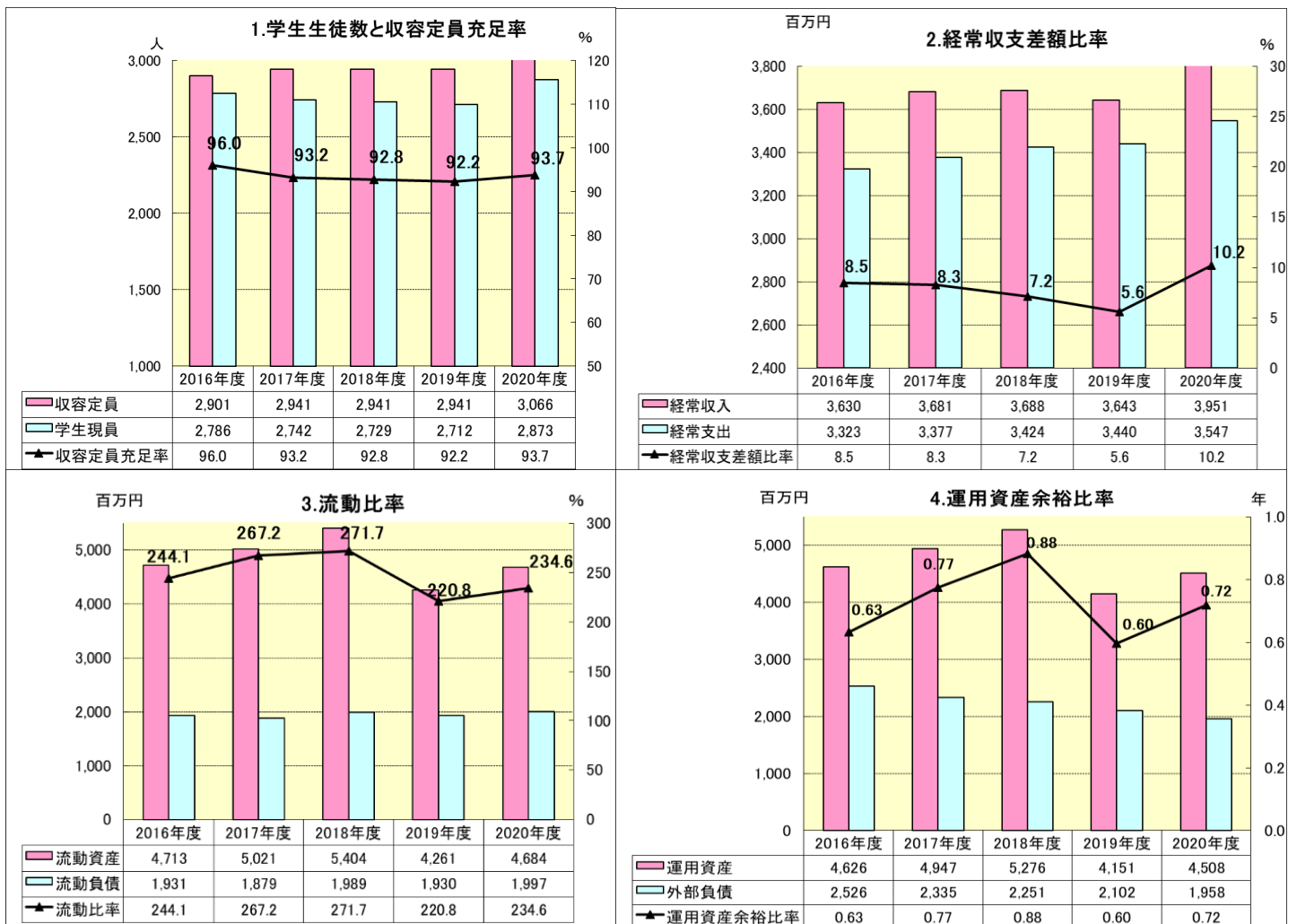
実質的な運用資産を年間の支出に対してどれだけ保有しているかを示すものです。

法人全体

2020年度は小学校を開校し、法人全体の収容定員充足率は93.7%となりました。経常収支収支差額比率10.2%、流動比率は234.6%、運用資産余裕比率は0.72年となっております。

2020年度は、前年度小学校開設準備費用に自己資金約11億8千万円執行した事により、財務比率は低下しましたが、2020年度は改善傾向であり、今後、小学校の完成年度に向けて、徐々に改善していくことと思われまます。

2020年度決算(法人全体)



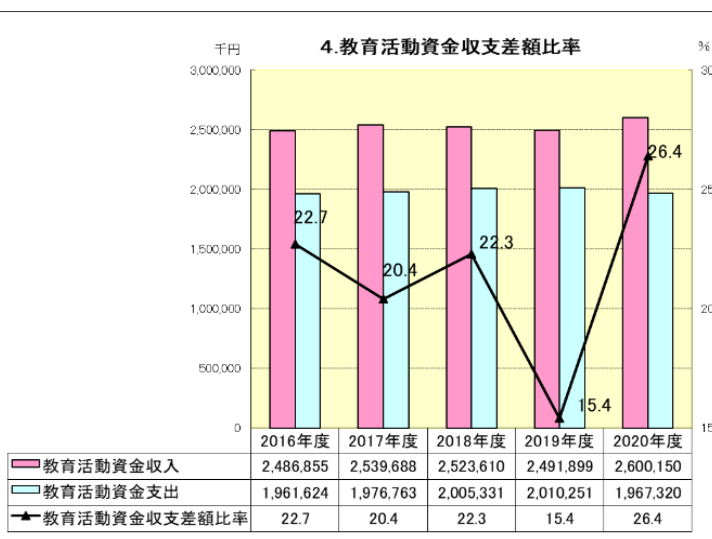
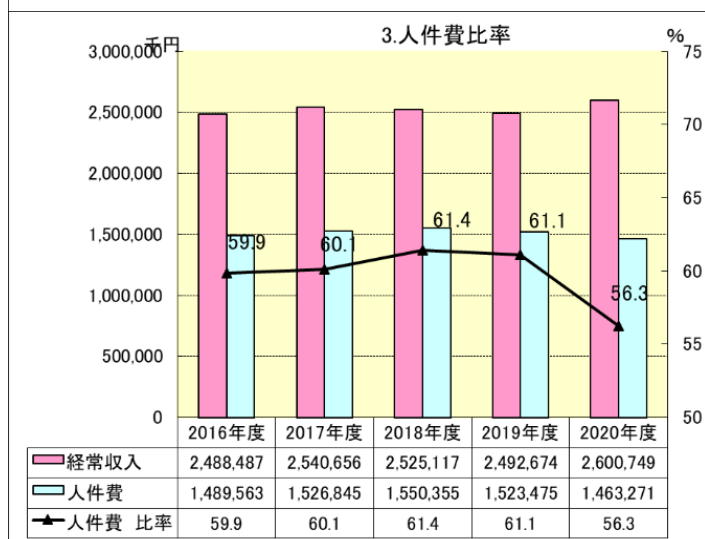
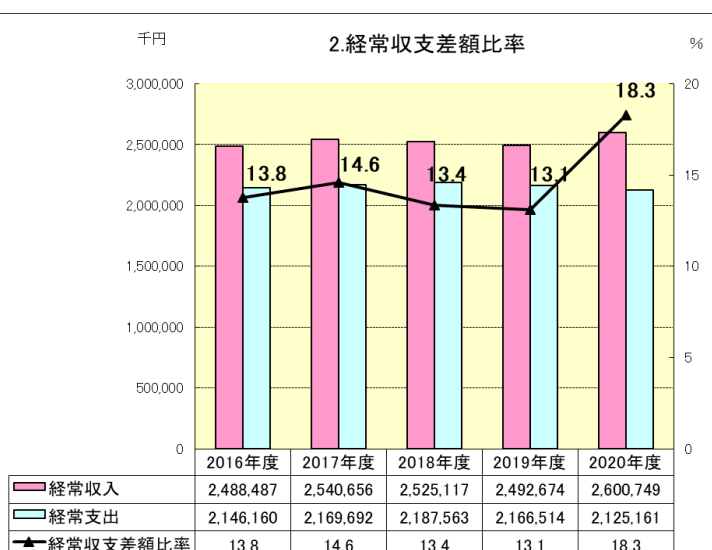
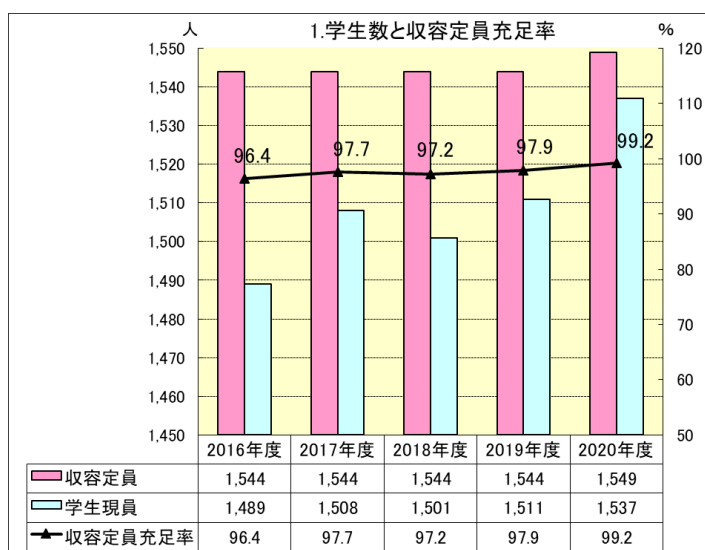
◆ 各学校の主要財務指標の内容

学校別の財務内容については下記指標を用いて算出しました。

- ① 収容定員充足率 = 学生(生徒・園児)現員 ÷ 収容定員
- ② 経常収支差額比率 = 経常収支差額 ÷ 経常収入
- ③ 人件費比率 = 人件費 ÷ 経常収入
 経常収入に対する教職員の人件費の割合を表したものです。
- ④ 教育活動資金収支差額比率 = 教育活動資金収支差額 ÷ 教育活動資金収入計
 教育活動でキャッシュフローが生み出されているかを表したものです

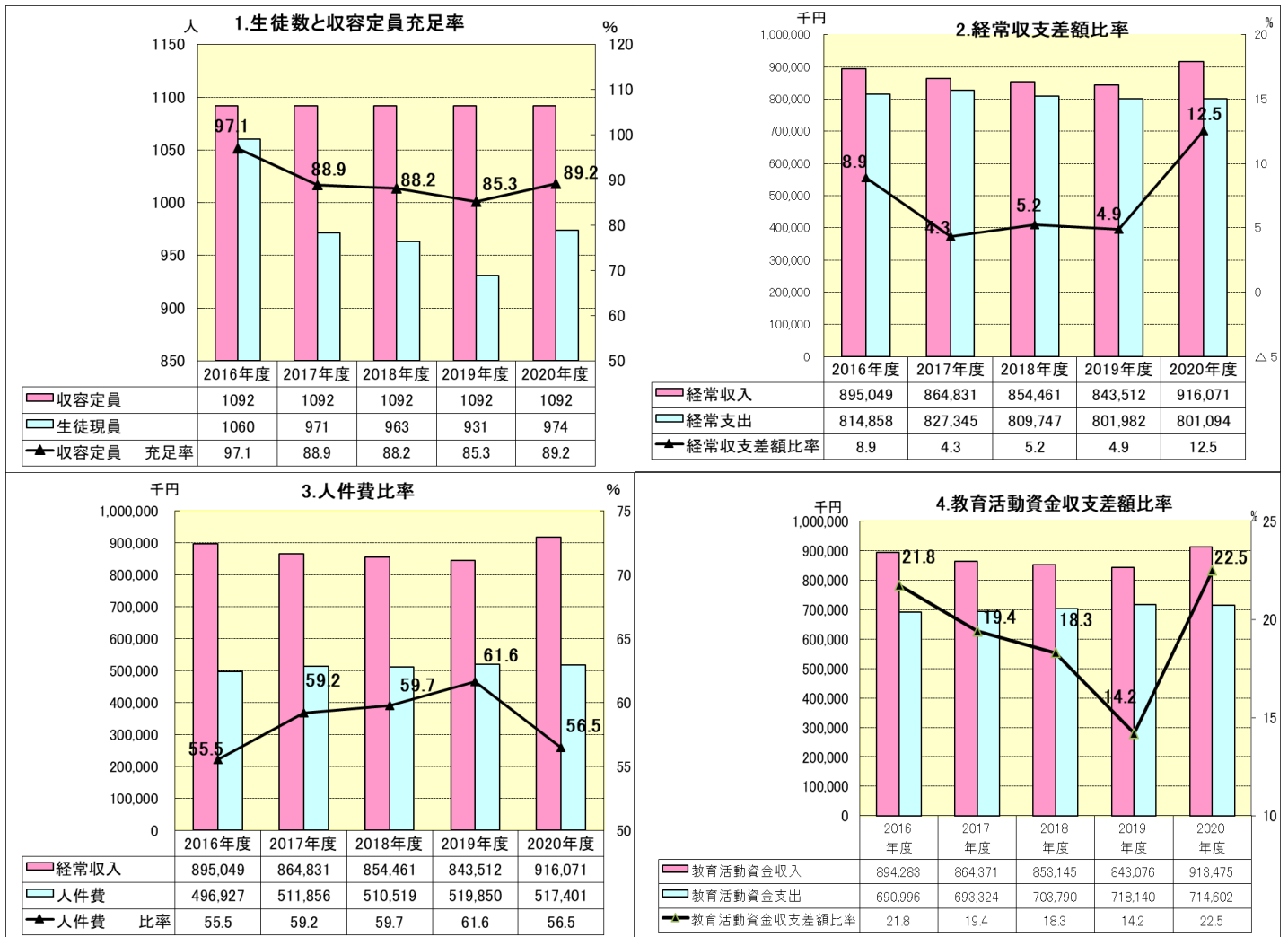
聖隷クリストファー大学

2020年度決算(大学全体)



聖隷クリストファー中・高等学校

2020年度決算（中・高等学校）



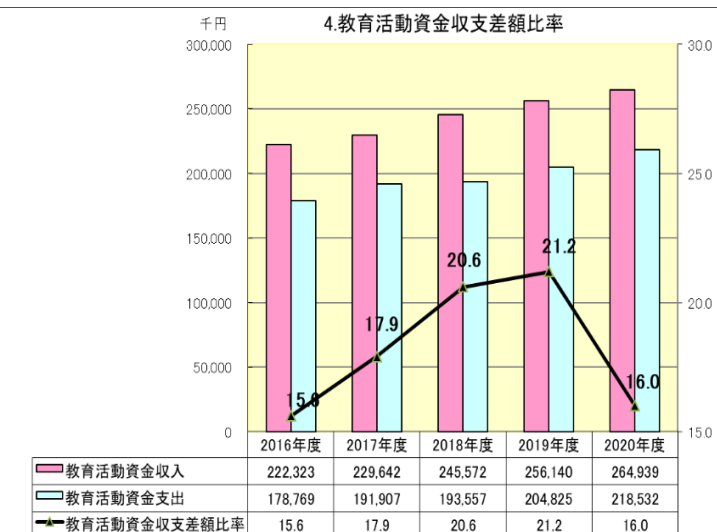
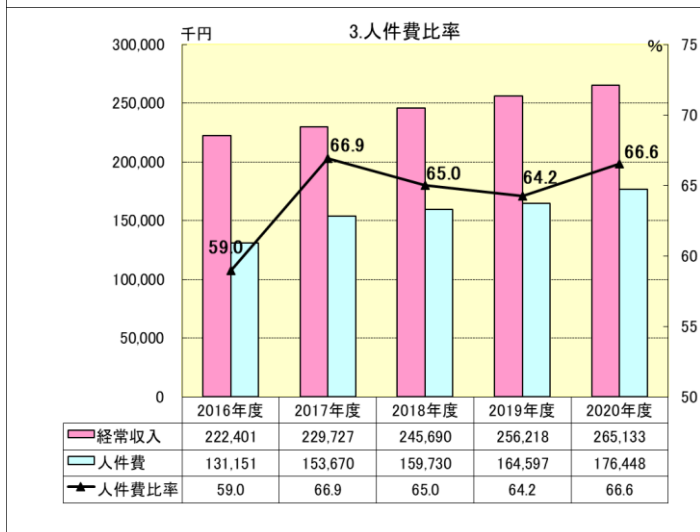
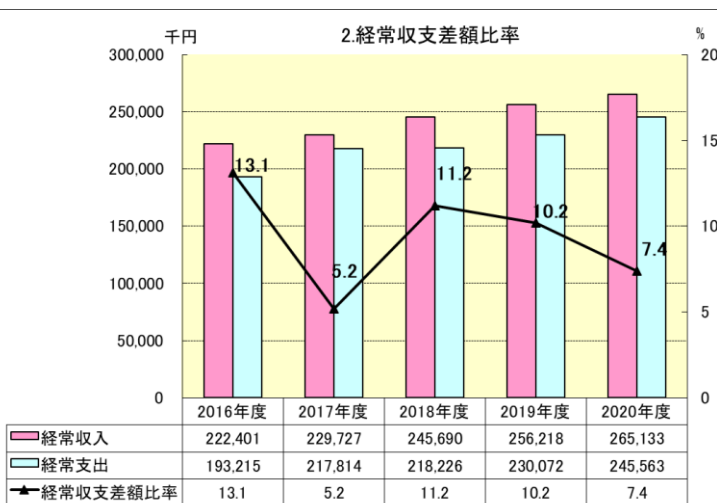
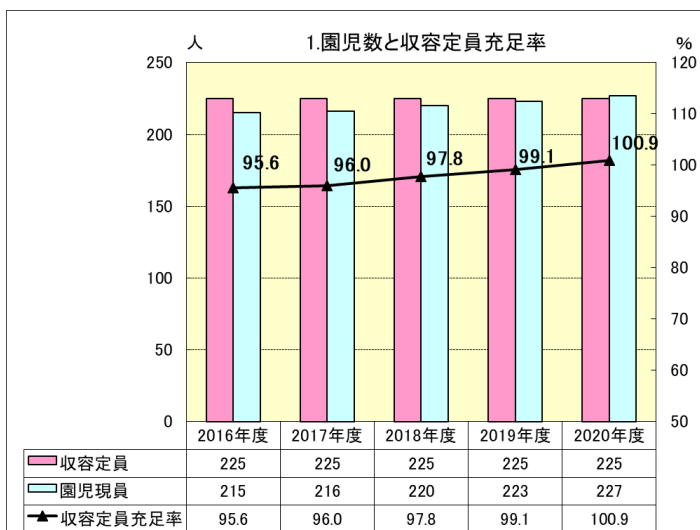
聖隷クリストファー小学校

聖隷クリストファー小学校は、2020年度4月開校のため財務比率のみ掲載します。

収容定員	学生現員数	定員充足率	人件費比率	経常収支差額比率	教育活動資金収支差額比率
120	92	76.7%	102.5%	△80.9%	△18.6%

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

2020年度決算（こども園）



聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

2020年度決算（専門学校）

